




フィオラ、死す…？

81  
ページ+α

# フィオラクライシス

FIORA CRISIS フィオラ姫、死す…？



ファイオラ皇女  
抹殺計画

その  
全容について

さいつも

ファイオラ皇女の  
戦闘力は  
あなどれない。

娘には  
も与えず……

まずは彼女の疲労、  
ダメージの蓄積を  
狙うため……

強力な怪獣どもを  
けしかけたからな……

続けざまに  
怪獣たちを出現させ、  
戦いを仕掛けた。



の傷、疲労は  
とんど癒えては  
まいて……  
はやファイオラの  
はポロボロ……  
える力など……



私の負担を極力  
減らすつもりで……



戦って……

私の分ま

傷が癒えず、  
疲れも残る  
ファイオラ皇女に  
次の手を打つ。

パワー自慢の  
宇宙凶暴猿  
ゴルグ。

今…の攻撃  
で…  
光は  
意識は  
失った

この怪獣の  
襲撃で、皇女に  
相当の深傷を  
負わせることに  
成功した。



ククク  
ククク  
ククク...

ダメージの深い  
皇女に、更なる  
追撃を加える。

脚だ

それは、  
ファイオラが  
『女』であることを  
最大限、利用し  
戦う力を完全に  
削ぐのだ。

宣言する  
明日……

私はお前の  
守ってきたこの  
星と地球人を  
攻撃する

……  
!!!!

それを回避  
したいのならば……

……  
よし……

強烈な媚薬効果を  
持つ針を全身に  
刺し、快樂地獄へ  
叩き落とす。

恐らく  
痛みも疼きも  
ほとんど  
消えないだろう  
がな……

ああああ  
あーッッ!!!

あぐう  
うッッ!!!

ぐああッ!!!  
うううッ!!!  
う……あ……あ……  
あ……ぐ……あ……  
う……あ……ッ!!!

あ……!!!  
クククッ……!!

あ……  
ハッハッハッ!!!

皇女は想像以上に  
悶え、叫び、望まぬ  
絶頂を繰り返した……



ファイオラ皇女  
抹殺計画は  
最終段階に入る。

それは、同化している  
地球人の女……  
姫野光を襲撃するのだ。

これで、ファイオラに  
更なるダメージの  
蓄積と、  
精神的揺さぶりを  
かける。

この星でいうところの  
約1時間ほどで  
作られたこの空間は  
消える……

クツクツクツ  
そうだ……  
お前にもチャンス  
をやるという  
訳だ……

な…何を  
考えてるの…?  
コイツ…!

お前が逃げ切れれば明日、  
わずかでも勝機があるやも  
しれんぞ……?  
どうだ?  
実に慈悲深い提案だろう…?

同化者の小娘は  
すでに…失神しかけて  
いるぞ?  
このままでは…クツク…  
ま、殺さんがな……

この女、なんの  
力もないので  
じっくりといたぶって  
やった…  
そして明日は

今はせいぜい泣き叫ぶことだな  
どうあがいても、今のお前に  
あの地球人を助けることは  
出来ない……クツク…



この姫野光はアアツ  
痛めつけて  
ボロボロにしてやる  
だけのつもり  
だったがー……

小生意気な  
娘だったの  
こいつにも  
あの針を何本か  
刺してやった。

クハハハハッ!!!  
もつと鳴け!!!  
そしてのたうち  
回るがいい!!!!

気が狂わない  
程度に……

クク、正気を失った、か  
気の毒にな……  
何度達したかの  
クク……

最後には叫ぶことも  
出来なくなっていたが  
——……  
ま、問題あるまい  
む

もないか……  
人には効果が  
ぎるだろうからな……

これでフィオラ柱  
下準備は完璧だ!!!  
姫野光!  
貴様も明日までの

強地無

準備は全て  
整った。

ほどほどの  
2匹を用意して  
やった

我々はいよいよ  
最後の一手を  
打つ。  
今なら

ほぼ無力……!

皇女のエネルギーの  
自然回復が極端に  
少ない夕刻……

なぶ  
翔るも犯すも  
我々の思うがまま  
です……!!

怪獣2体を出し、  
ファイオラを誘き出す。  
そこに現れた  
皇女は……

はこイツ等に



度重なる戦いの  
ダメージで力を  
失い……まよえには

同化者の傷の  
影響でも力を  
削がれ……

勝機もない

メッ……

この状況で  
数でも不利だ  
なんて……

せいぜい  
絶望するが  
いいぞ……  
クク……!

……いえ……

あの星人も  
必ず……現れる  
はず……!!

絶対に

許さない

……ツ……!!

さらに

ど……!!  
ど……!!

どこを見ている  
ファイオラ皇女

あの針の効果か……  
まったく異なる姿で  
我々の前に立った。

ドクン……

ドクン

ドクン

抹殺計画黒幕の  
ブラン星人は  
戦闘に特化した  
姿に変身。

あ……  
ああ……あ……

弱り切った皇女は  
なすすべもなく  
痛めつけられる。

ま……まるで別……  
まったく違う星人  
姿のように……!!

ううう……!!  
あ……あ……!!

そして……  
ついには……!!

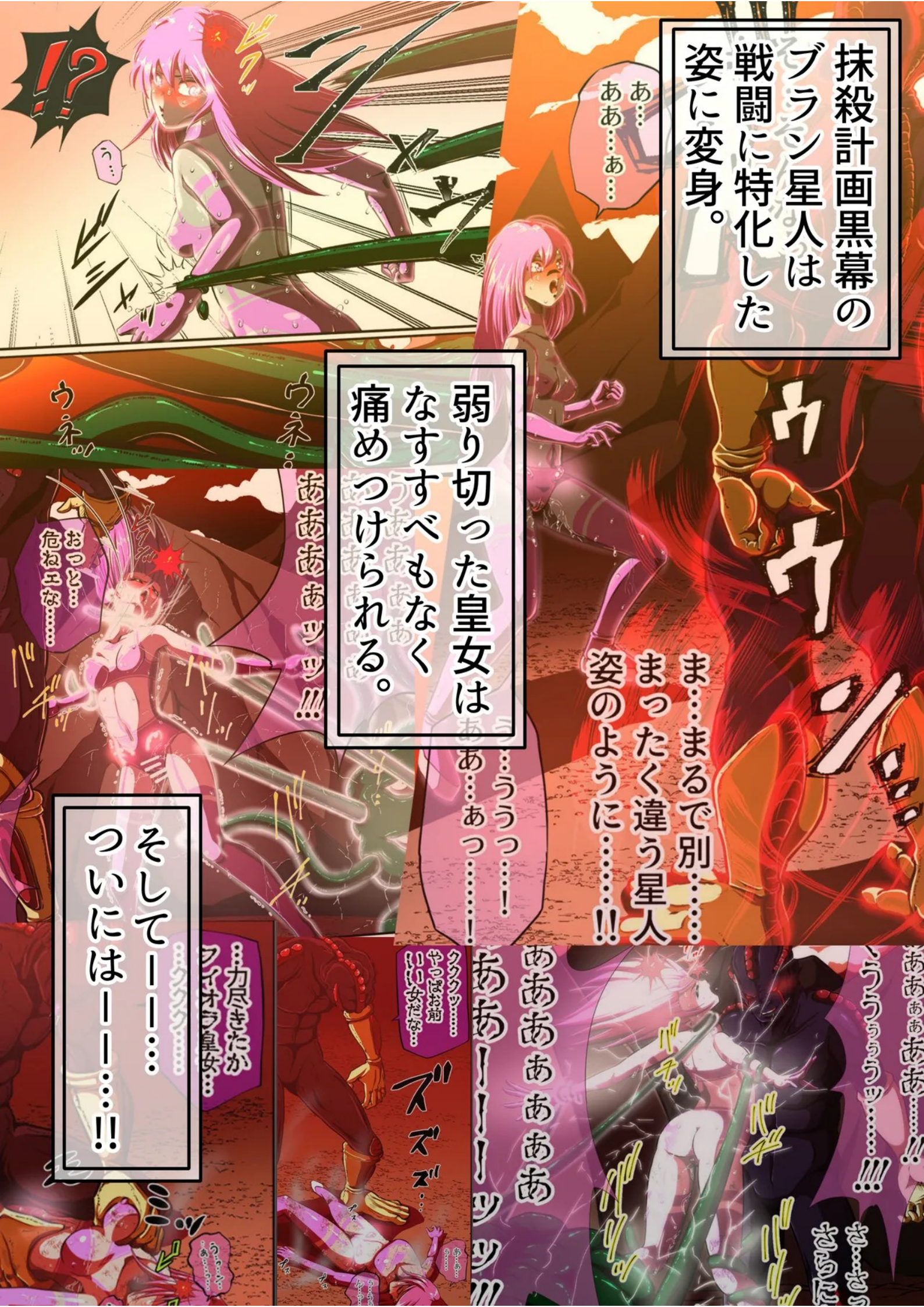
……力尽きたか  
……ワイオラ皇女……

……うう……  
……やっばお前  
……いい女だな……

ズズズ……

あああああああ

あああああああ……!!  
……!!  
……!!



姫野光との  
同化も強制解除され  
さらに無力となった  
皇女は——…

あろうことか、  
同化者の眼前で

そのカラダを  
穢されてしまおう…

何度も——…!!  
何度も——…!!

この皇女様  
が……

なな……

そのカラダを  
穢されてしまおう…

何度も——…!!  
何度も——…!!

たつぷり……  
膣内へ……  
射精して  
やるぜ……!!

あああつ!!

……

……

皇女を犯した  
ブラン星人は  
更なる残酷な  
『ゲーム』を  
ファイオラに強制した。

それは、これからの  
戦いでファイオラが  
倒れるたび、光にも  
電撃による激痛が  
襲うというもの。

皇女は、光を守るため――  
戦うどころか満足に  
動けないカラダに鞭を打ち、  
ブラン星人との最終決戦に  
挑むのだった……!!



私の命……!!

無くしても  
かまわないッ……!!

小娘  
あう  
つて

犯された  
には……

ツツ!!

ファイオラ!!

は……反応……は……  
できて……た……

で……  
で……

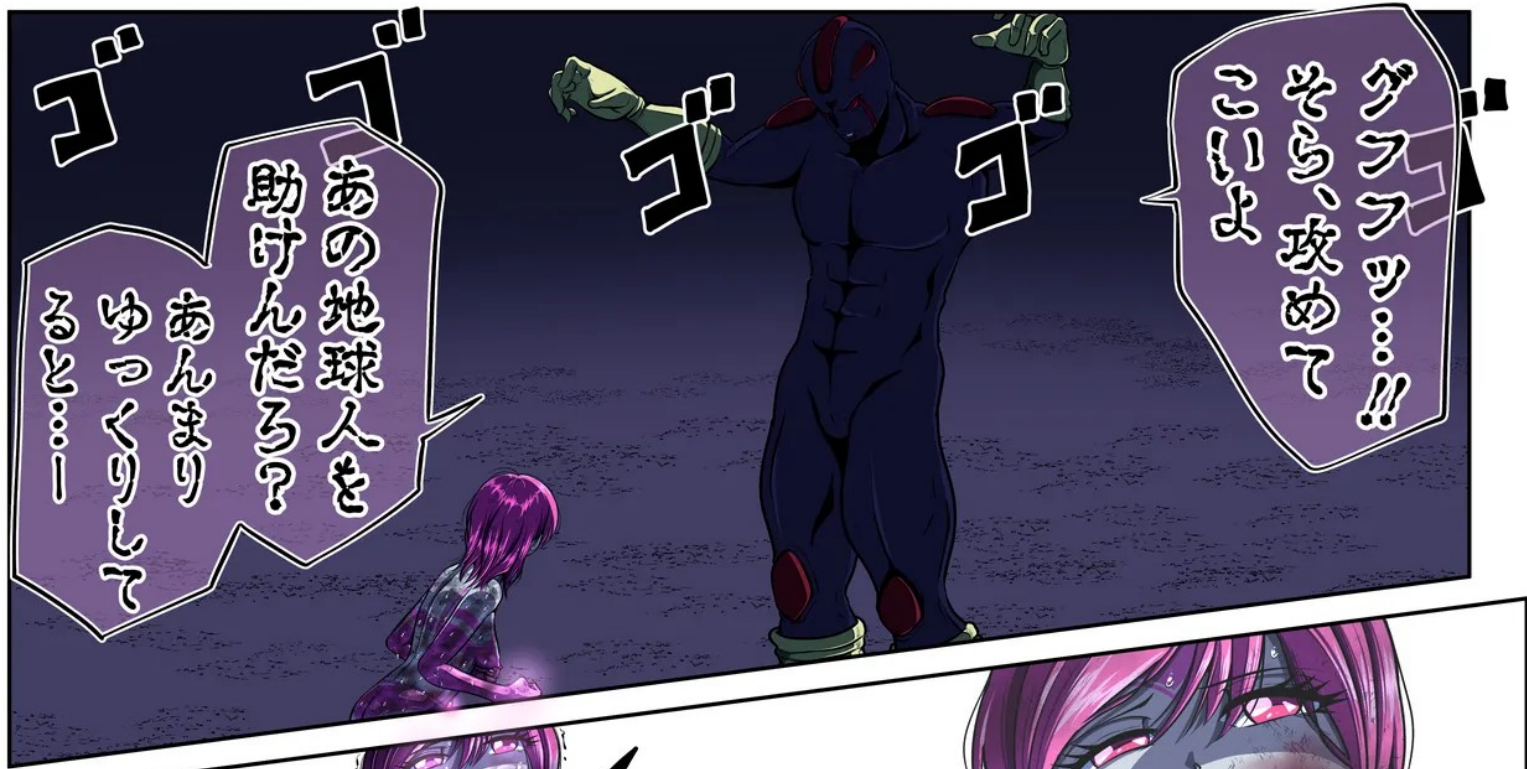
も……もう……  
カラ……ダが……

カラダ……が……

思う……よ……

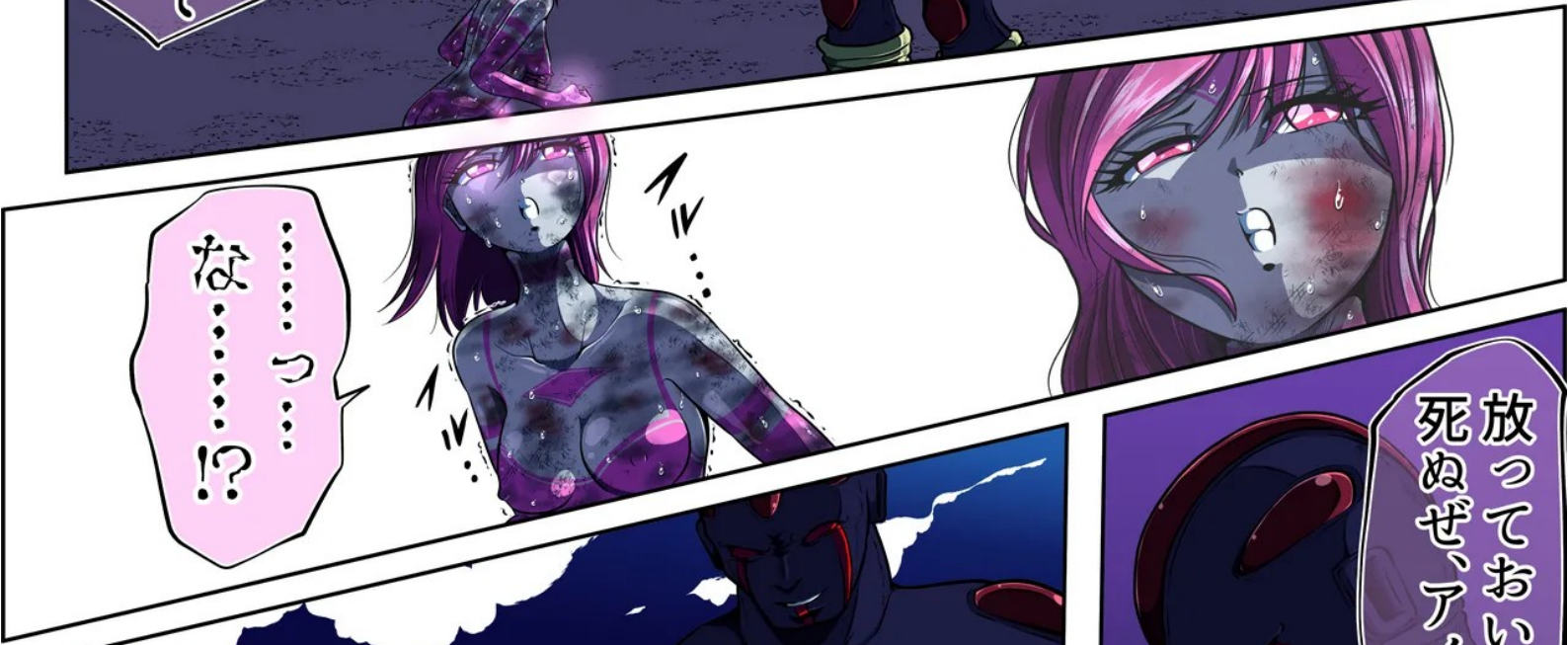
動い



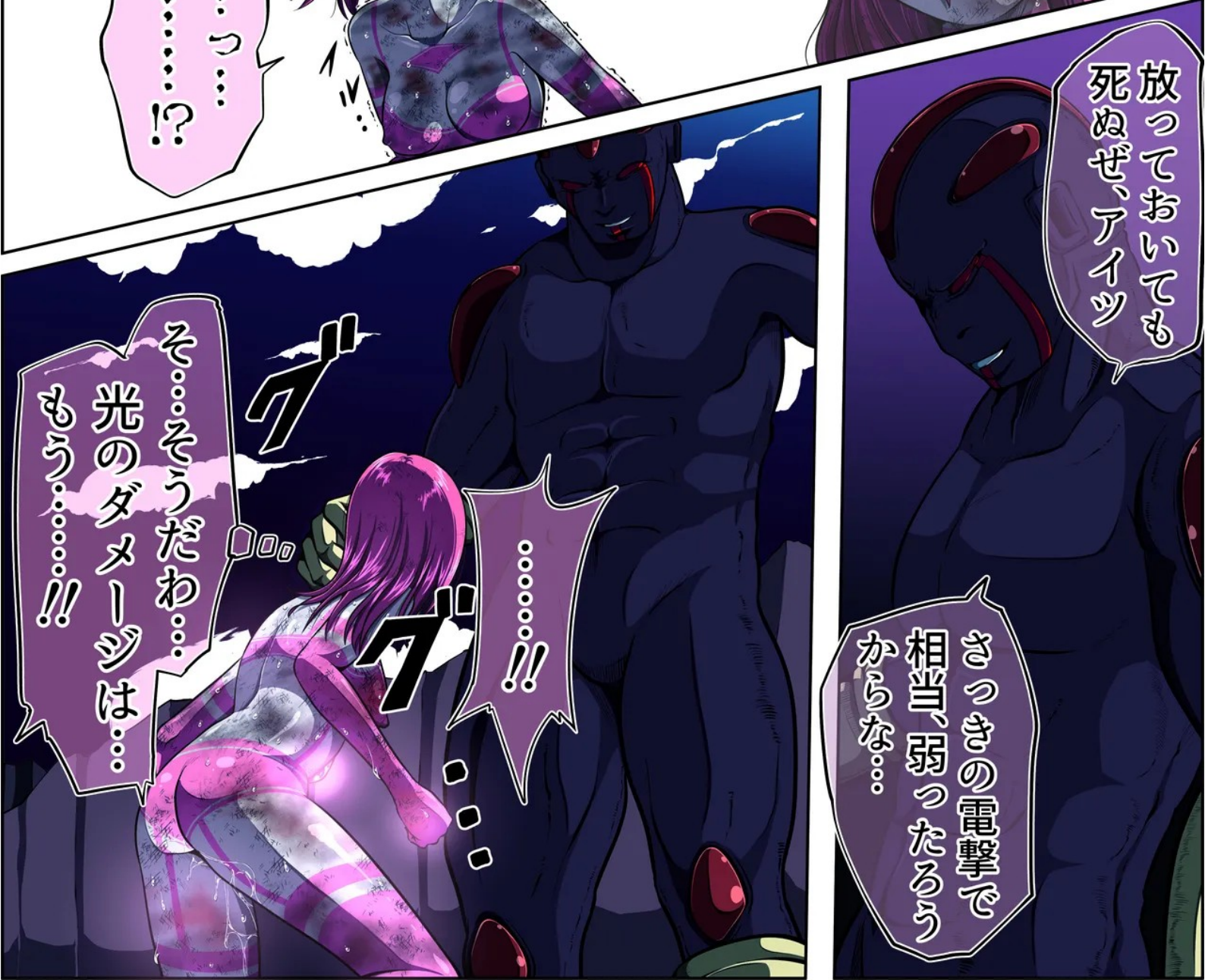


グフフツツ…!!  
そろ、攻めて  
こいよ

ゴ  
グ  
あの地球人を  
助けんだろ?  
あんまり  
ゆっくりして  
ると…



な…!?  
…っ…



放っておいても  
死ぬぜ、アイツ

さっきの電撃で  
相当、弱ったろう  
からな…

グ  
グ  
そ…そうだわ…  
光のダメージは…  
もう…!!

…!!



グフフツ…  
さあ…  
来い…!!

そのボロボロの  
カラダで…!!



いくしか…  
ない…!!

弱気になんて…  
なつて…  
いられない…!!



オレに  
ニヤ…

いたぶられに  
来い…!!



倒す!!!

光をいたぶつた  
この敵だけは…!!

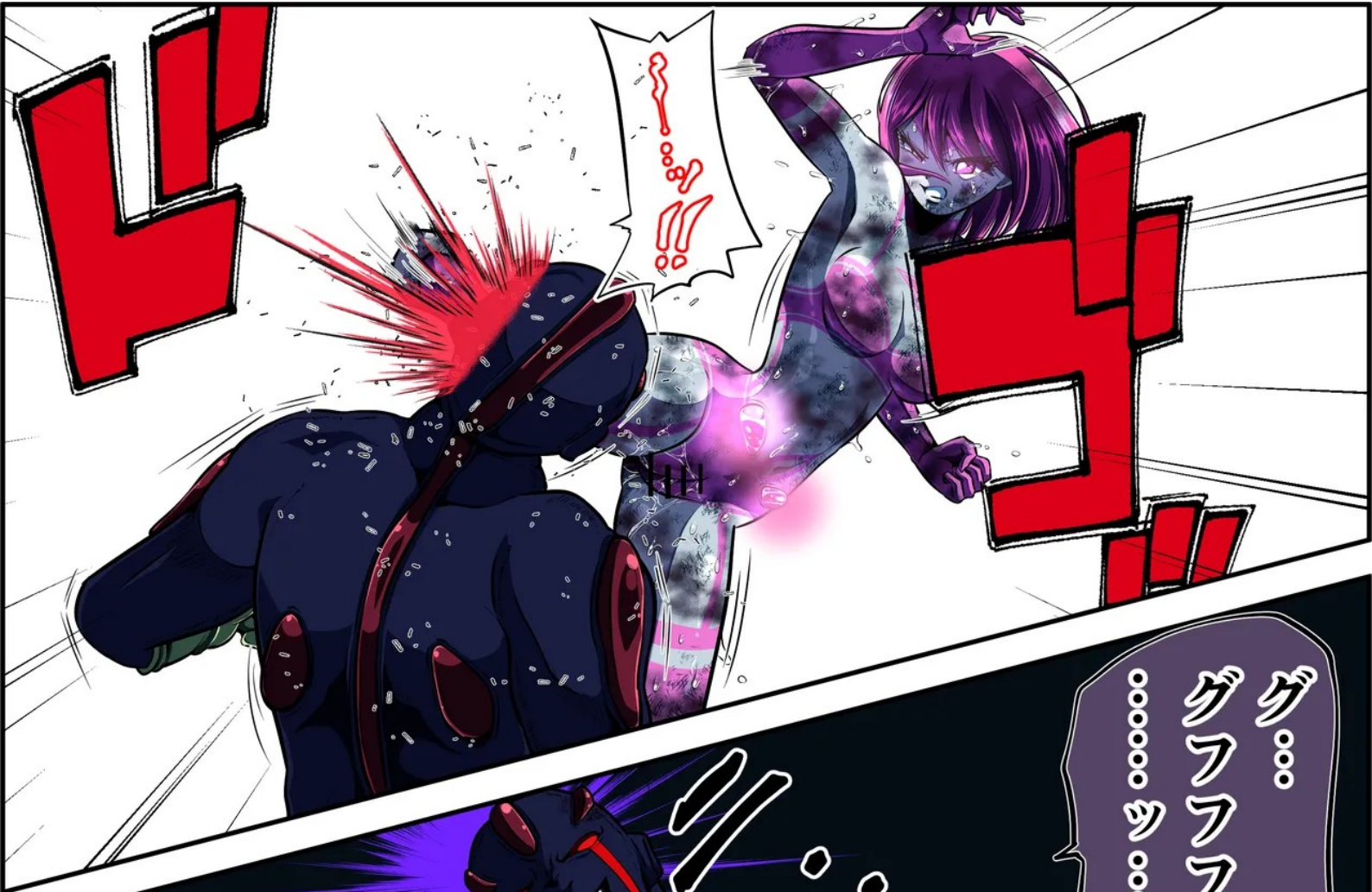
たあああツ!!!

この星人は  
許さない

許せない

絶対  
許さない!!

私の命と  
引き替えても  
かまわない…ツ!



???

ワ

ド

ググ  
グフフフフ  
ツツツツ!!

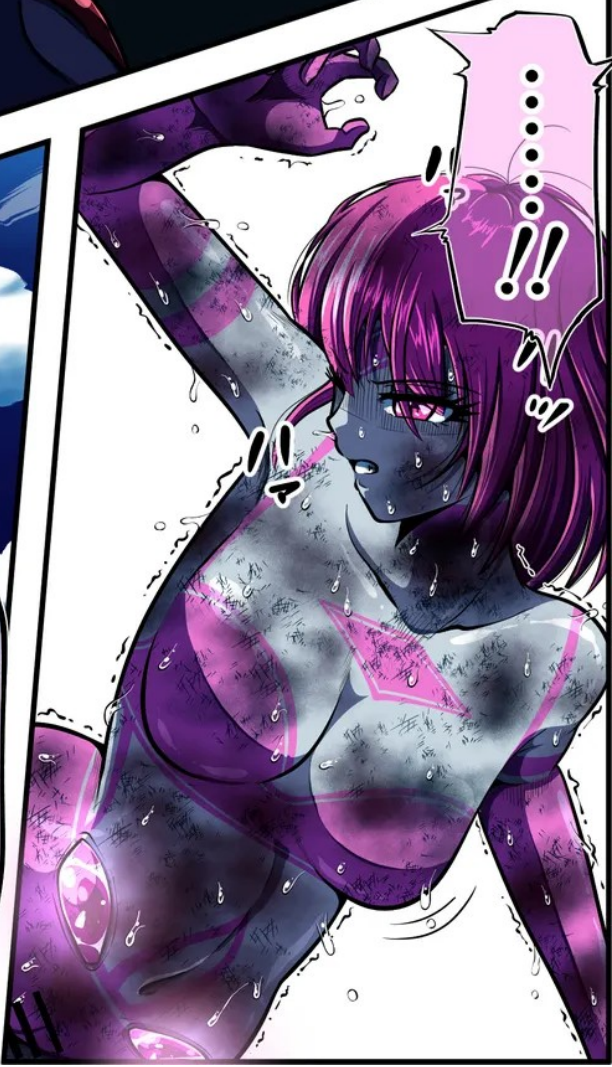


今の蹴り.....



お前の力.....

さっきより  
明らかに  
落ちてるな



!!



グフフフ…  
グフフフツ…

それでも  
— ……  
戦わなきゃ  
なア…

あの女…



当然だな  
太陽光の一切  
届かない夜…  
そして— ……



ヒメノ  
ヒカル— ……

助けたいんだ  
もんなア…!!

地球人の同化者も  
失っている状態  
じゃあ— ……

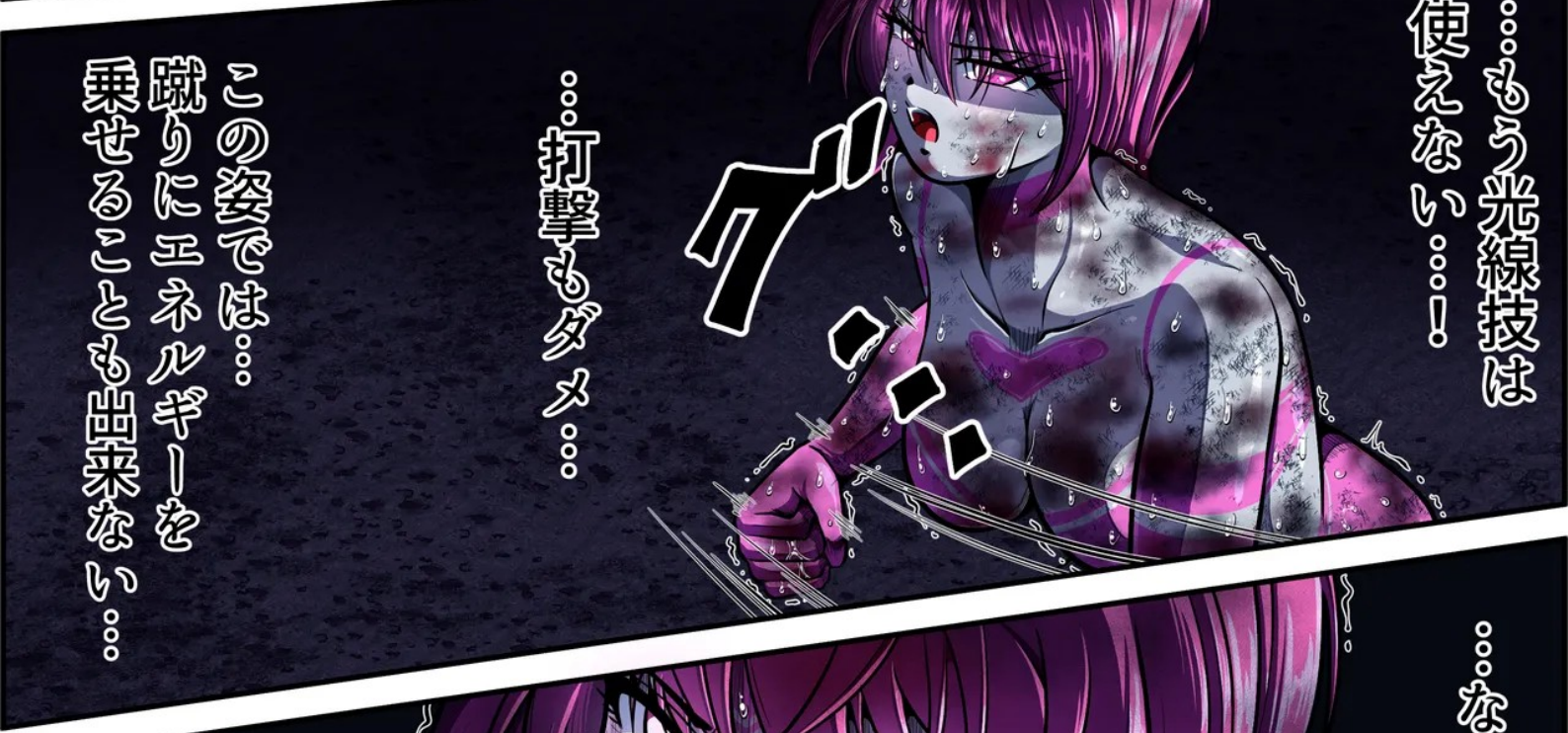


く……ッ



来いよ  
姫様ア

時間が  
ねエんだろ？



…もう光線技は  
使えない…！

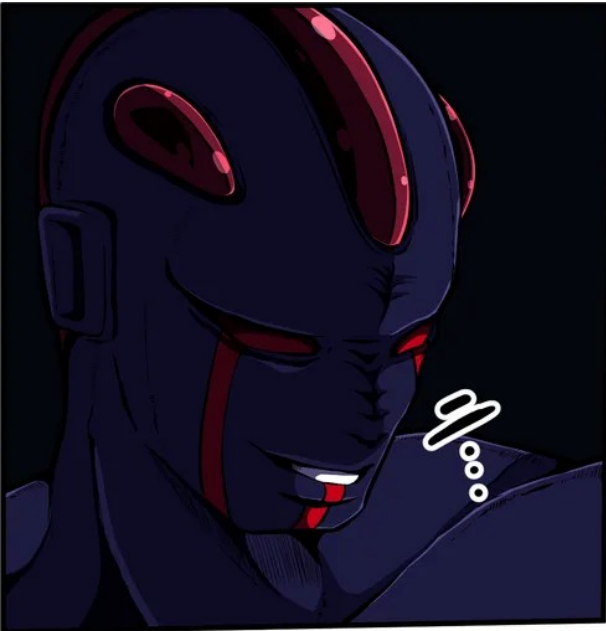
…打撃もダメ…

この姿では…  
蹴りにエネルギーを  
乗せることも出来ない…



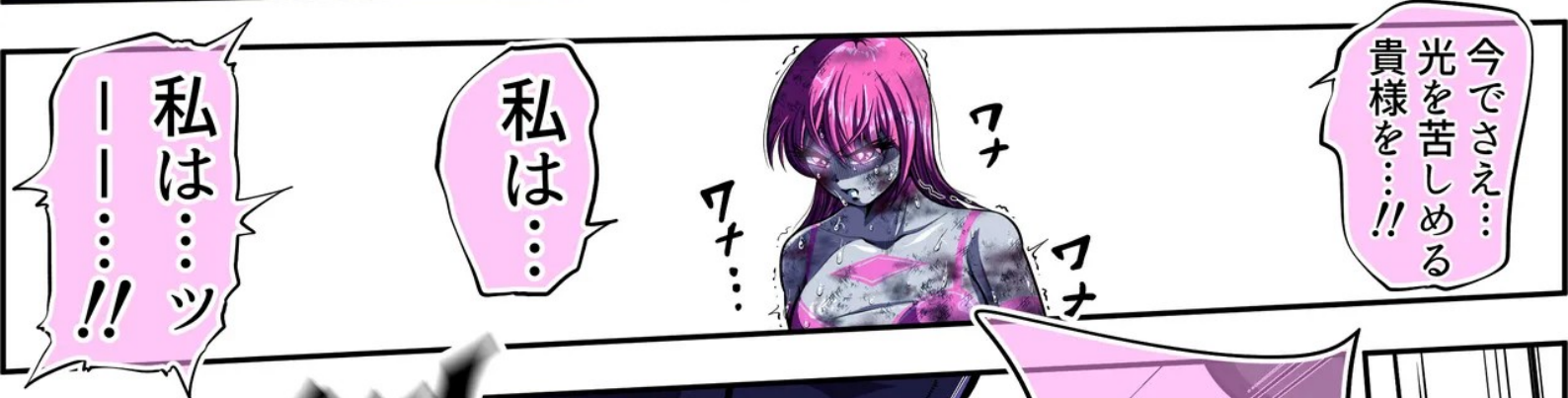
…なら…

…光を  
助ける  
には…！！



…言った  
はずよ…  
…何度も

…お前だけは  
許さない…と…



今でさえ…  
光を苦しめる  
貴様を…!!

私は…

ワナ…

ワナ

ワナ

私は…ツ  
…ツ  
!!



絶対に

…

許さないツツ!!!

ある意味  
執念深い女だ

あの地球人が  
それほど大事  
なのか…？

同化者の代わりなんて  
いくらでもこの星には  
いそうなんだがなア…

今度は  
とっ捕まえて  
絞め——…

ま、いいか  
オレにとっちや  
——…

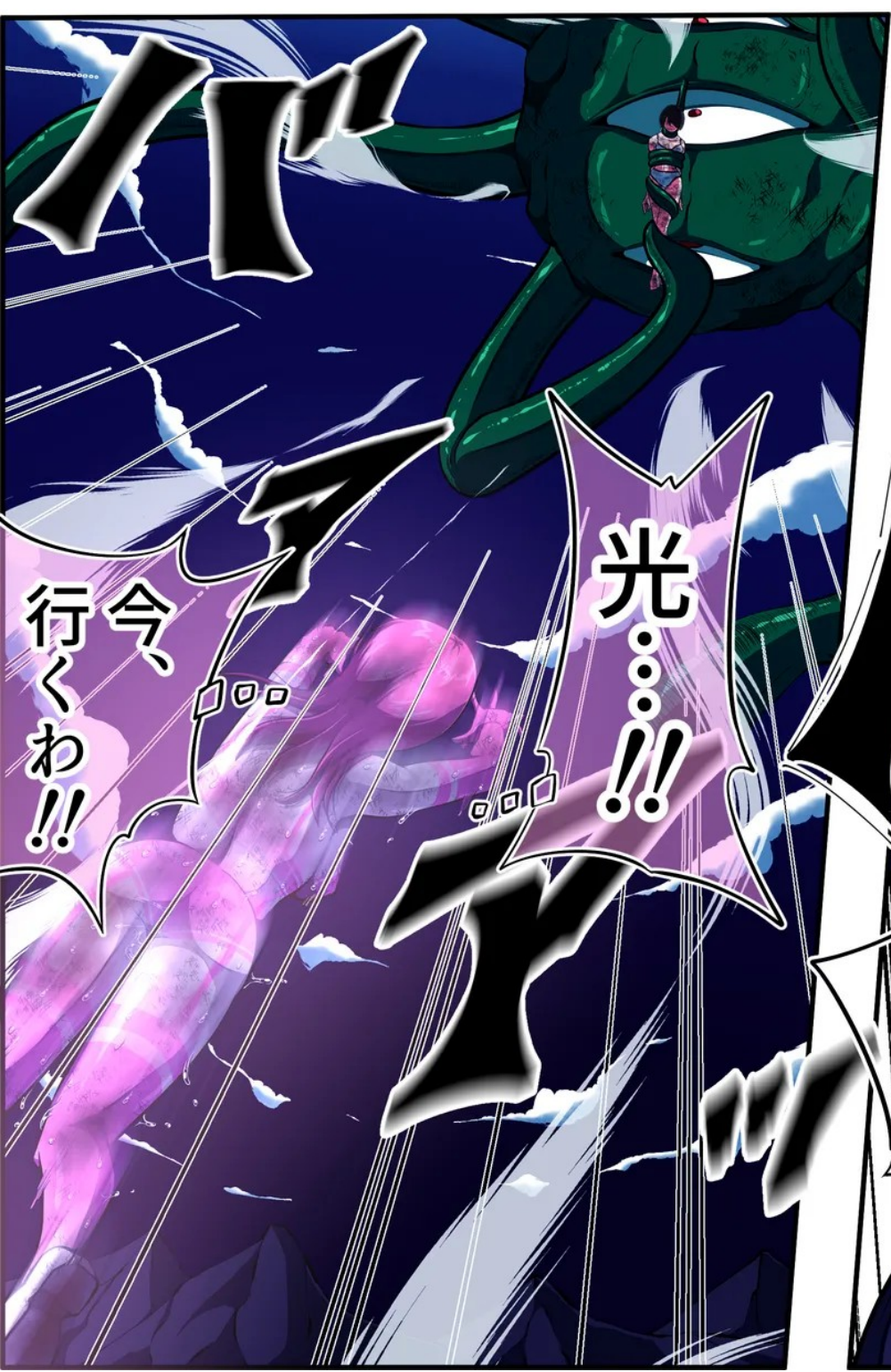
ターゲットが  
わざわざ  
向こうから来て  
くれんだからな





なるほど  
.....

そう  
来るか



今、  
行くわ!!

光  
!!!



バカめ



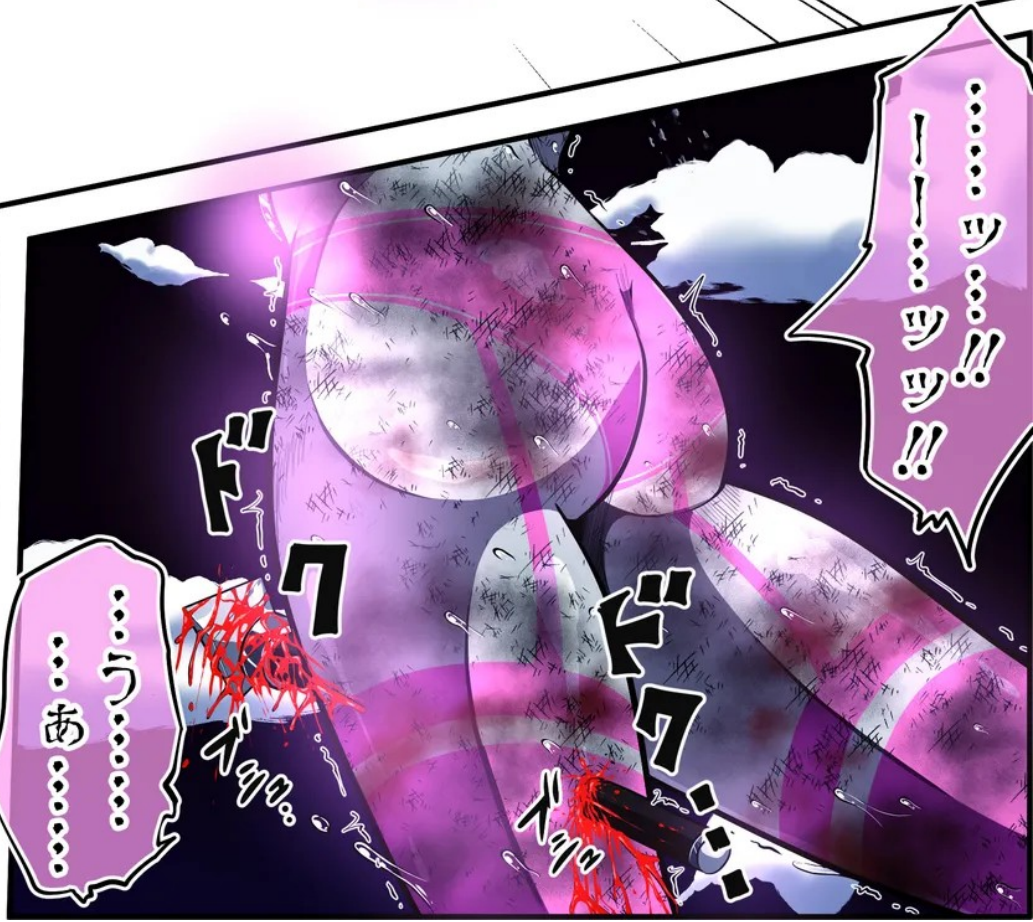
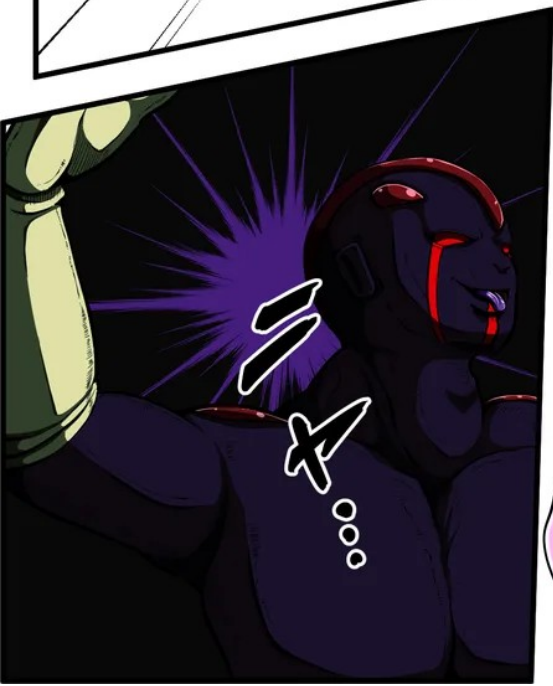
オレから背を向けるとはな

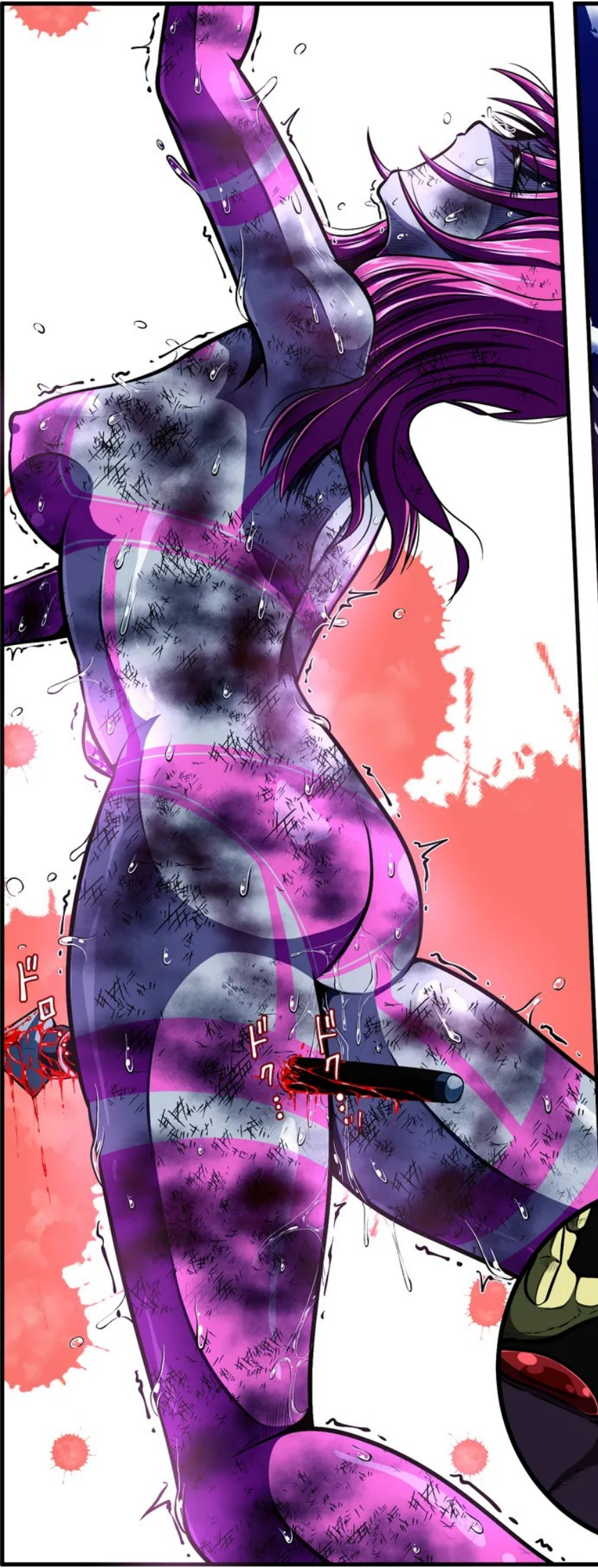
ウウウ...



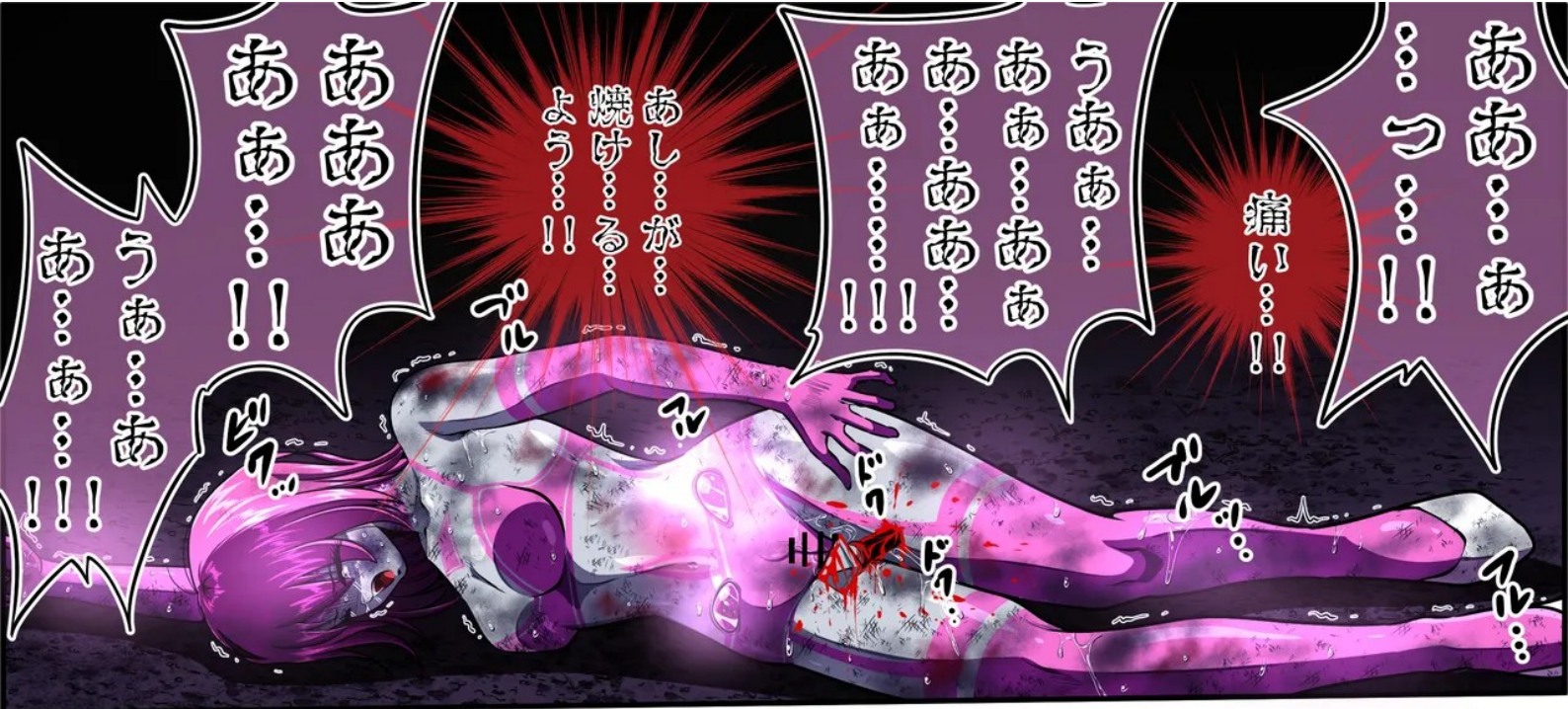
痛みを思い出させてやるよ

あの『針』の比じゃねえやつでいな









ああ…あ  
…つ…!!

痛い…!!

うああ…

ああ…ああ

ああ…ああ…

ああ…!!

あし…が…  
焼け…る…  
よう…!!

あああ

ああ…!!

うああ…あ

あ…あ…!!



ルールを  
忘れちゃ  
いねエよな？

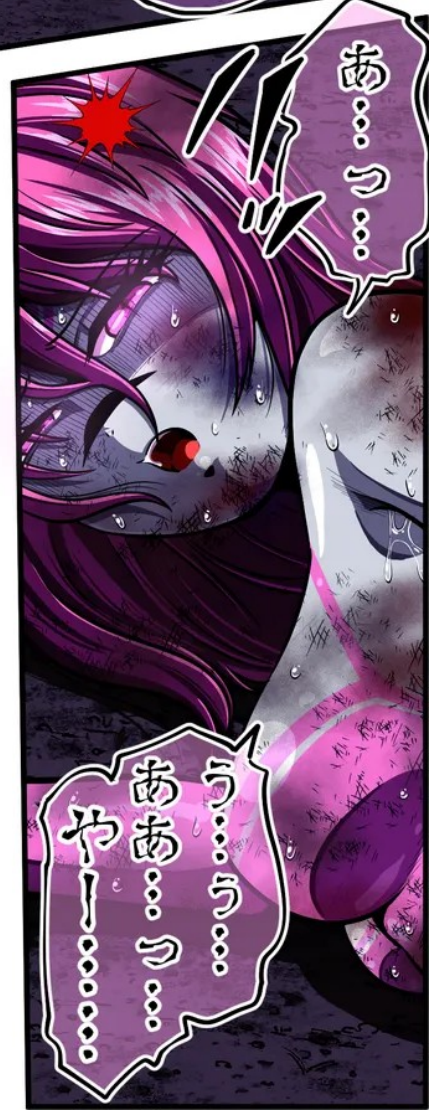
お前が  
倒れたの  
なら…!!

ヒメノ  
ヒカルには  
…!!



…クク…

…やれ…!!



あ…つ…

う…う…  
ああ…つ…  
や…!!



立つから  
やめてえ  
ええツ!!!

やめてツ!!  
立つからツ!!



グフフツ  
いいぞ...

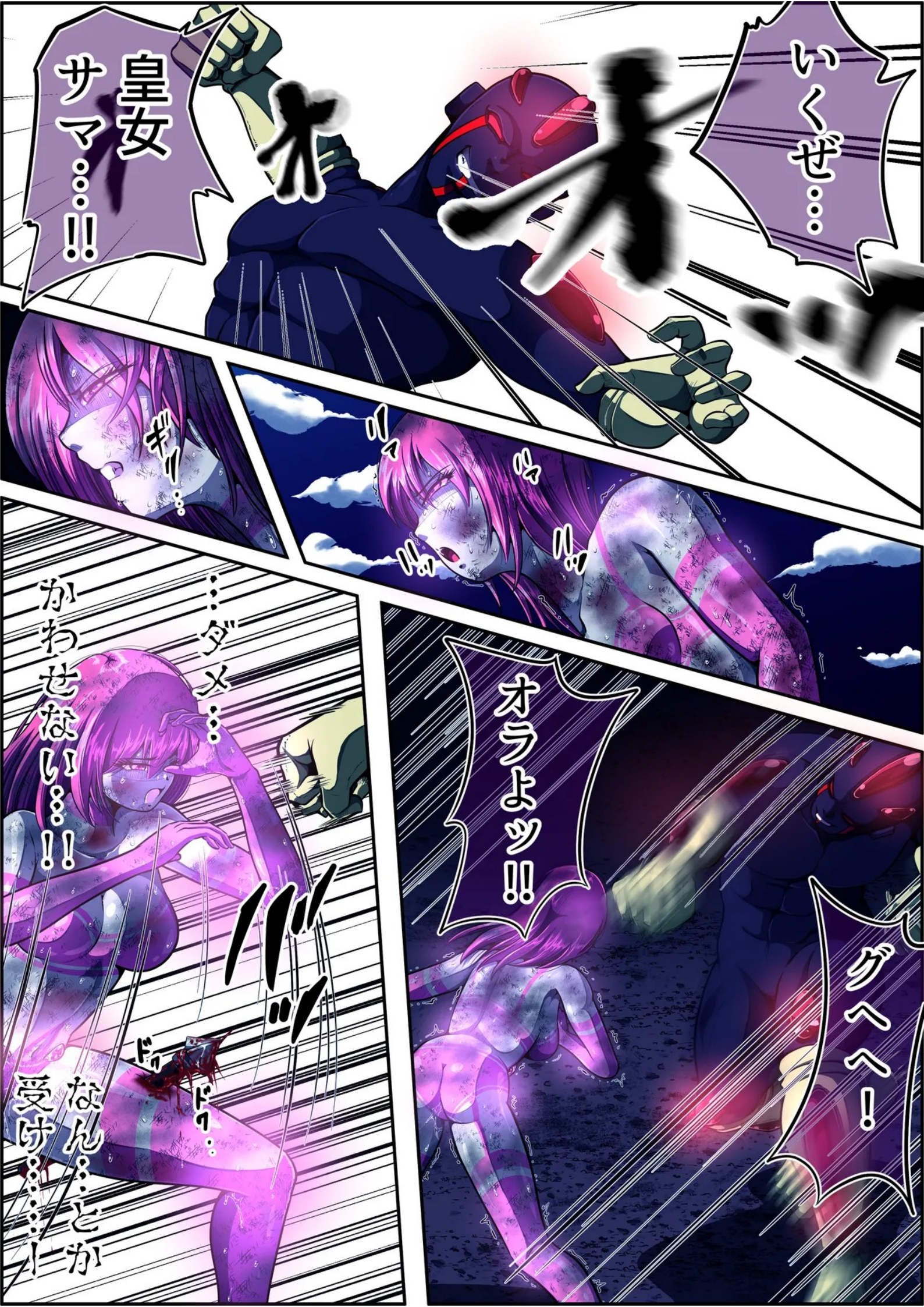


そのカラダで  
その傷で...  
。。。  
まだ気力が  
あるとは... な



アアア...!!





皇女  
サマ……!!

いくぜ……

……

……

かわせない……!!

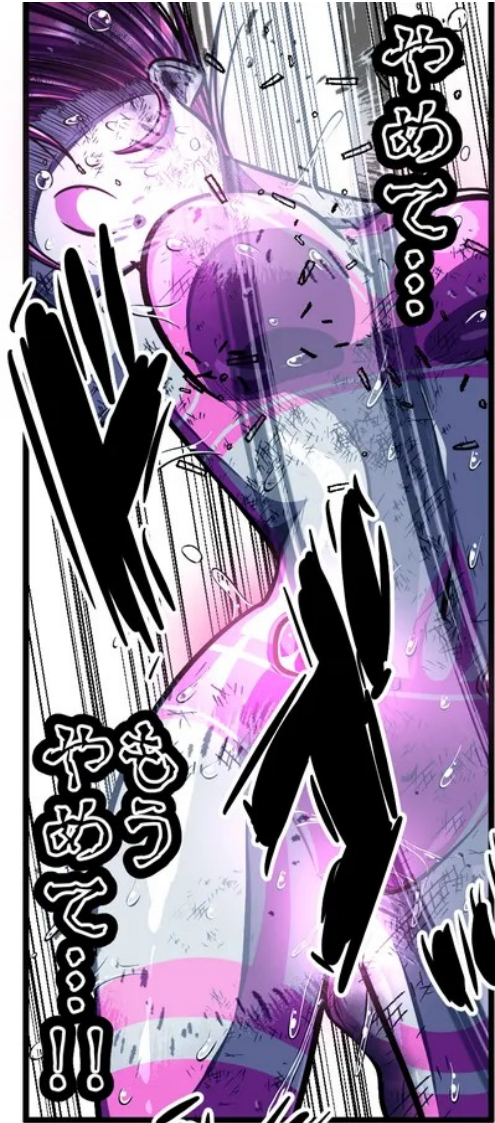
……ダメ……

オラよツ!!

グハハハ!

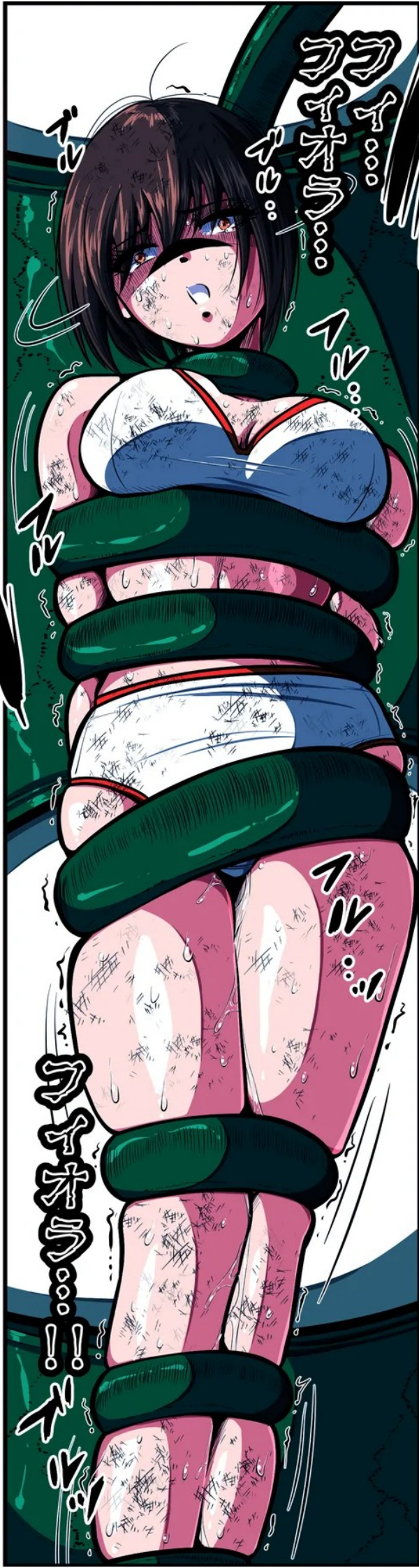
なん……とか  
受け……!!





やめて...

やめて...!!



コワイコワイ...

コワイコワイ...!!



あ...



な傷いでけ...

死んどやう...!!



コワイコワイ...!!

死んどやう...!!

た…倒れ…  
ない…!!

ガク

ドム

ズル

ガク

ぜ…絶対…!!

ズ

ガク

倒れ…る  
もん…か…!!!

光ひ…を…

こ…れ以上…

傷つけ…  
させな…!!!



く、来る…!!  
たえ…ろろツ…!!

!!!  
ツ

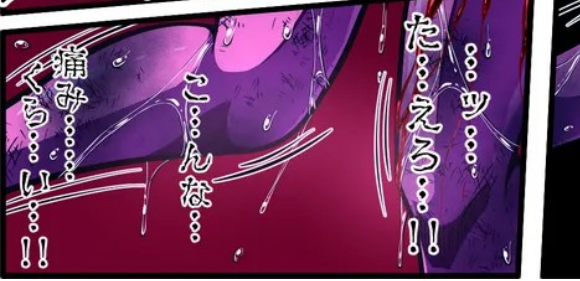


なら…!!  
もう1発…!!

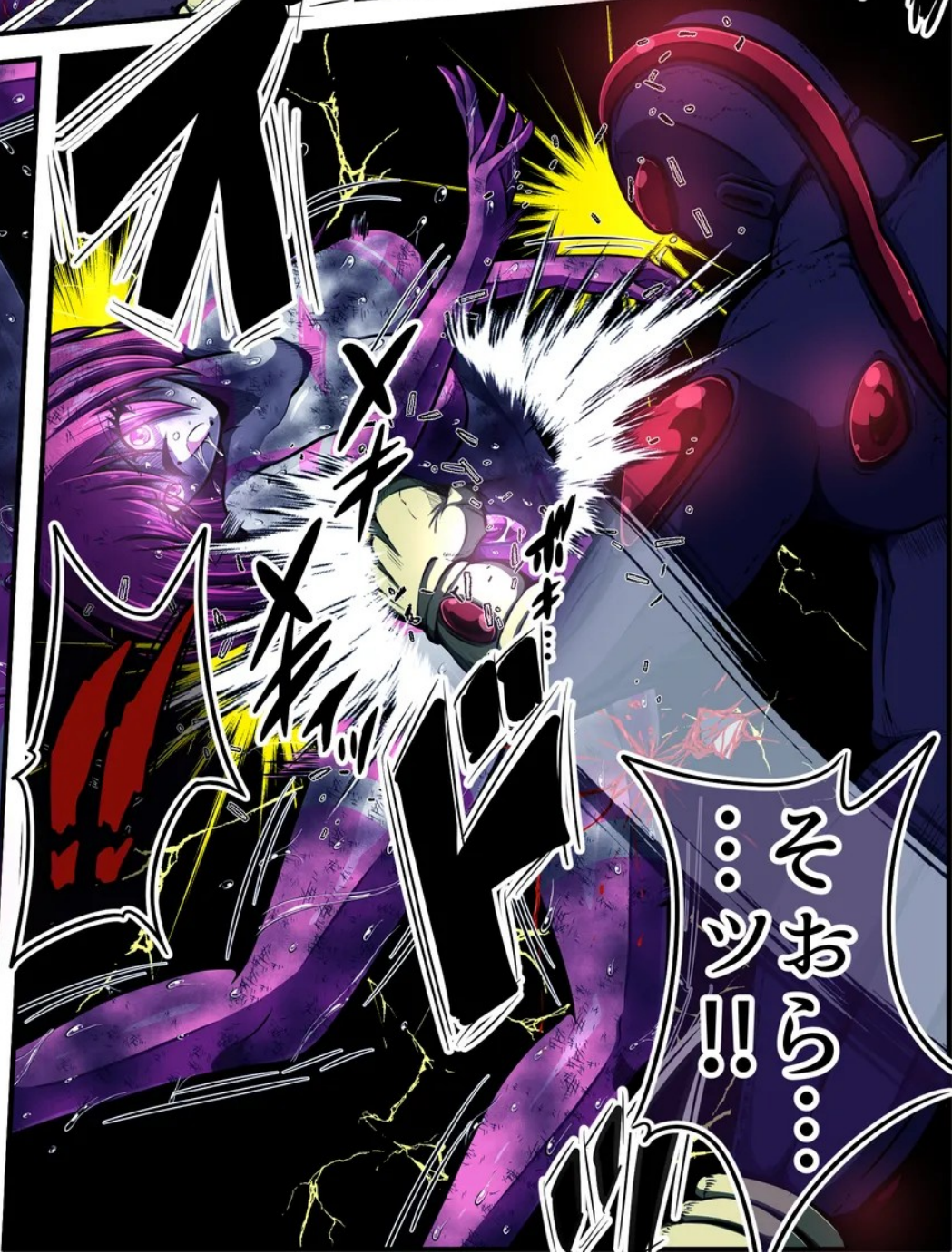
なかなか  
我慢強エ  
じゃねえか



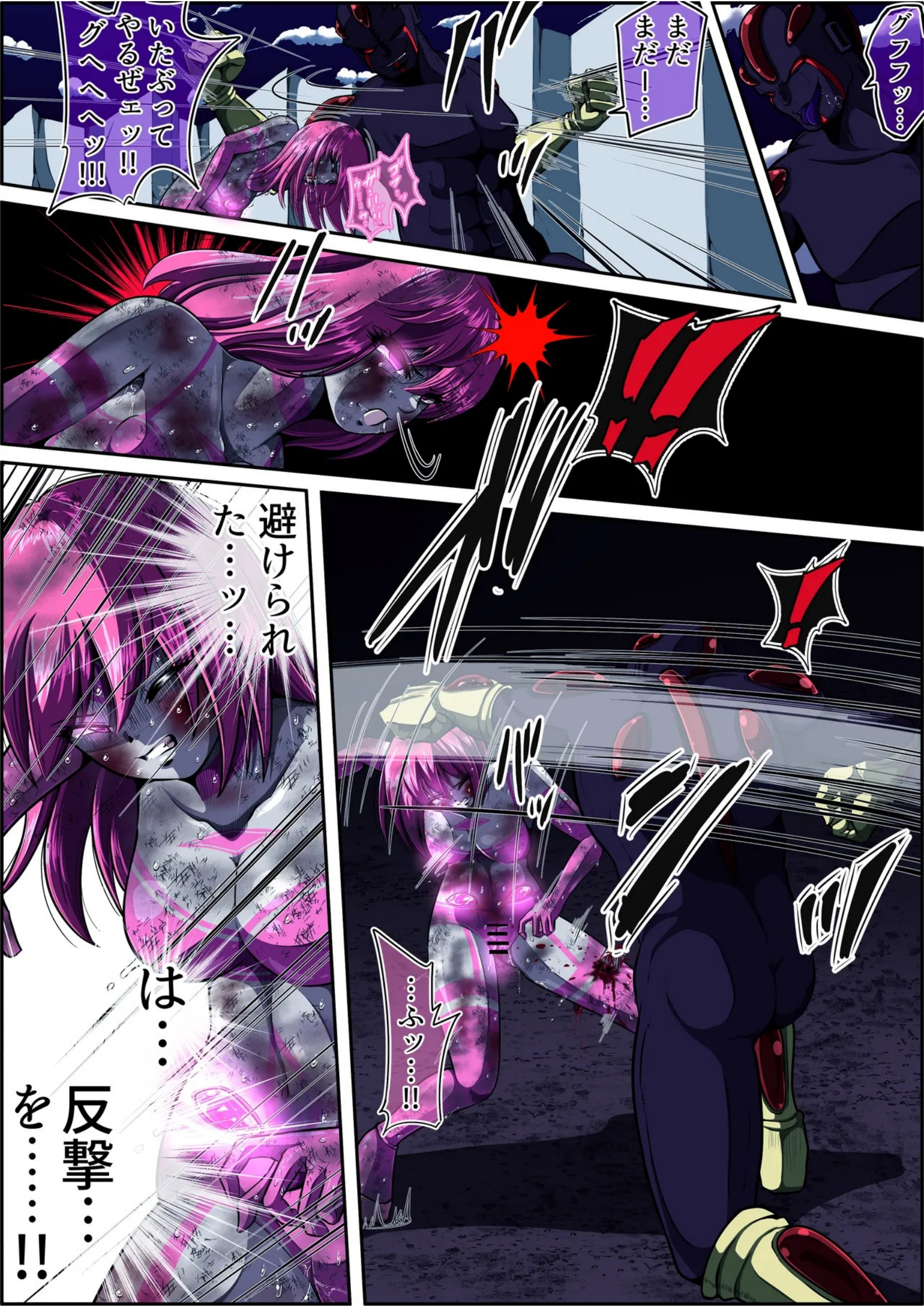
ガ…  
ハ…  
ヒ



た…え…!!  
…ヒ…  
…ヒ…  
…ヒ…



そおら…  
…ツ…!!



まだ  
まだ  
まだ！

グフフフ...

いたぶって  
やるぜエツ!!  
グヘヘッ!!!

避けられ  
た...ツ...

は...

反撃...  
を...!!

...ふッ...!!



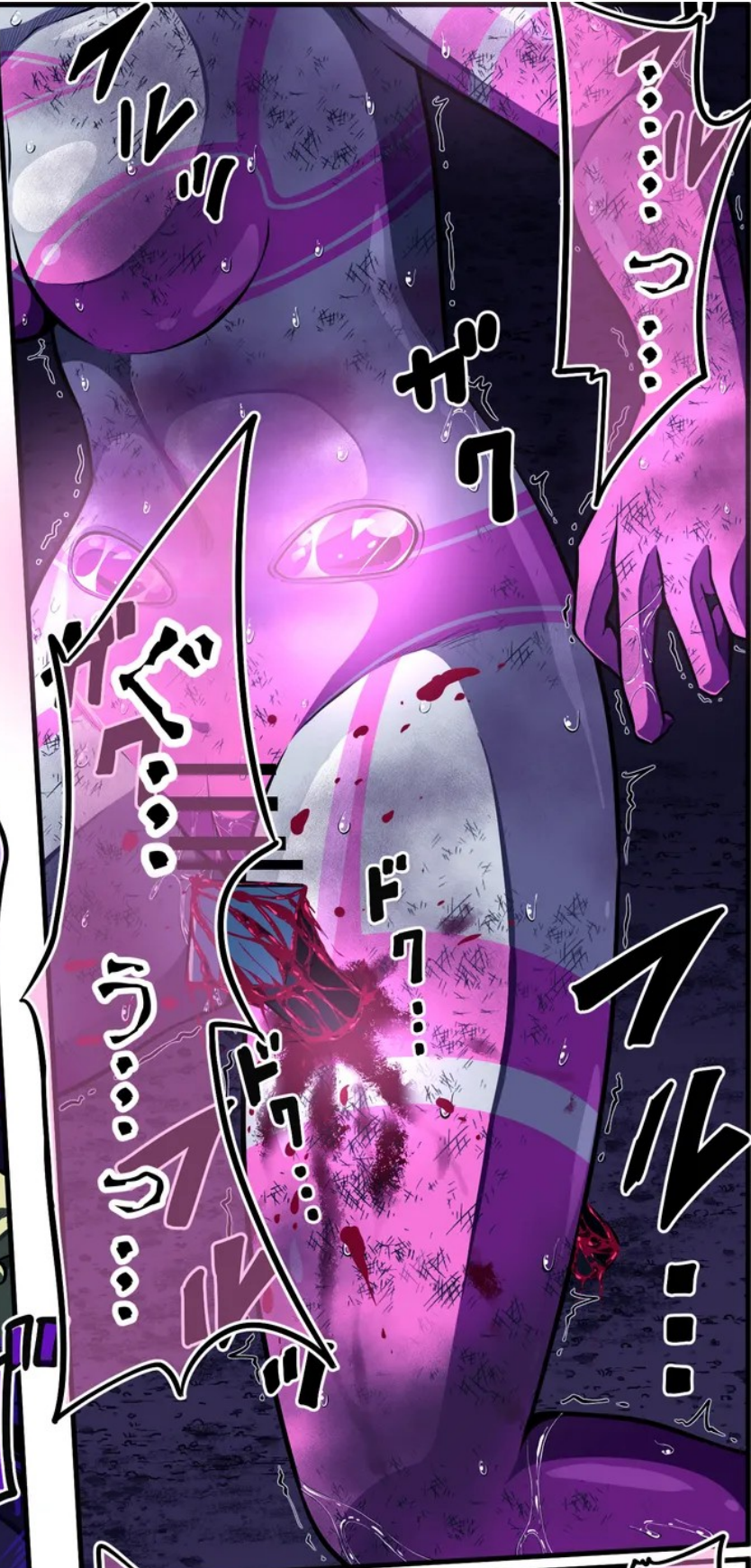
無理は  
するな...

クワン...



おまへは  
もう戦え  
ねえよ...!!

あつらひ...  
オレのオレを...  
なれや...クワン...



クワン...

クワン...

クワン...

あ...  
が...し...

あ...

さらに  
パワーを  
溜めた  
ブルー星人の  
攻撃……!!

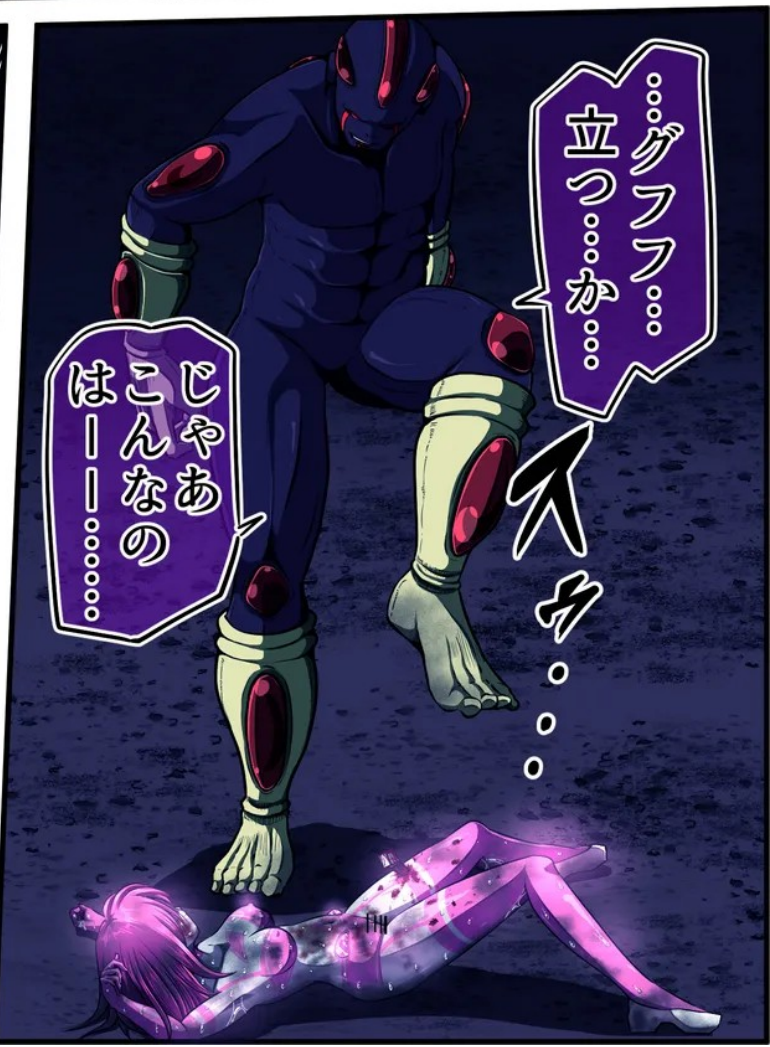
ピンクモードの  
うえ、さらに  
傷つき……

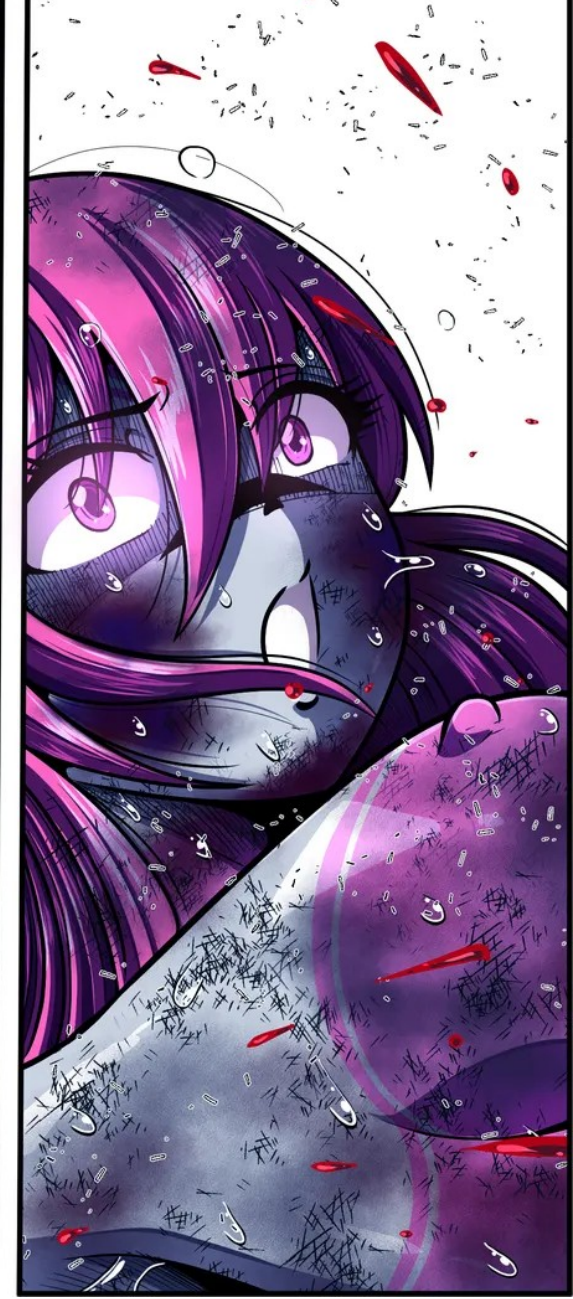
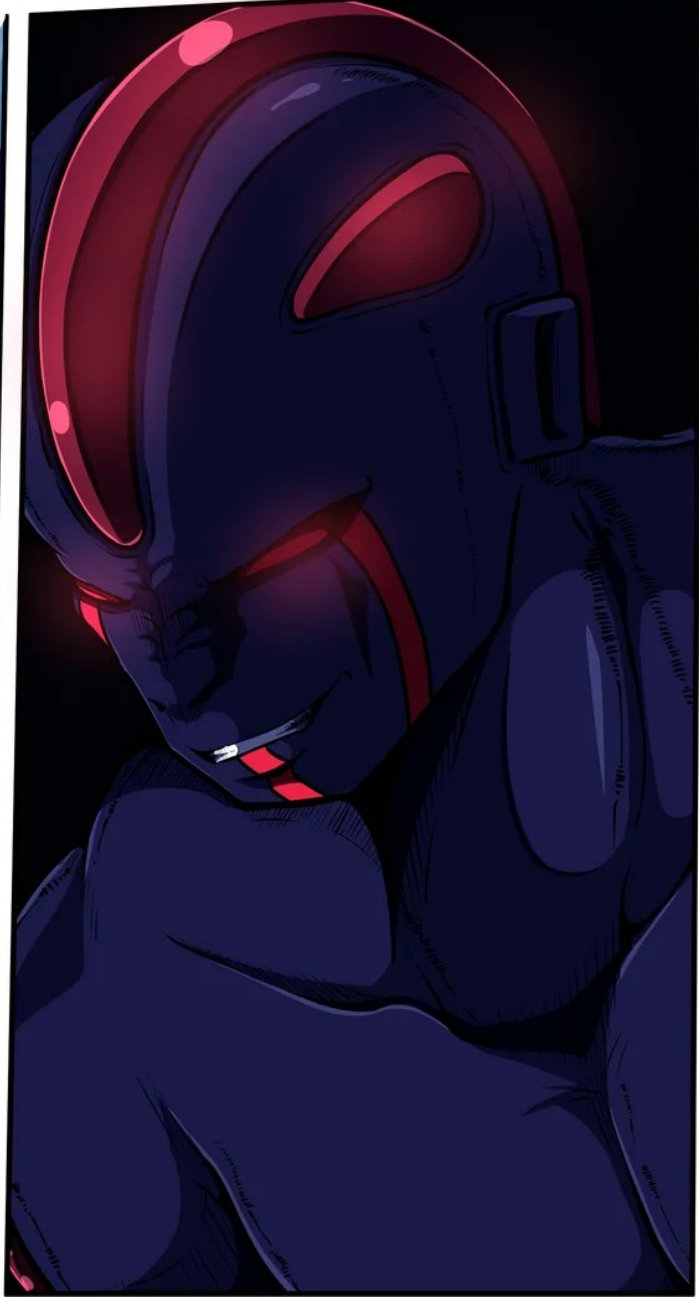
弱  
り  
き  
つ  
た  
姫……!!

もう……  
どうしようも  
ない……!!

折られる  
寸前で  
あつた……!!

凄まじい衝撃に  
フィオラの心は  
……  
もはや……  
完全に……



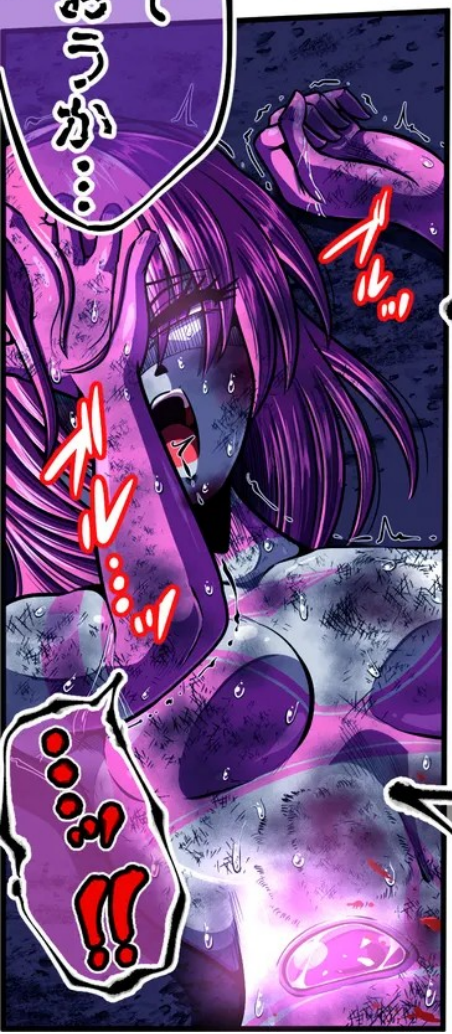




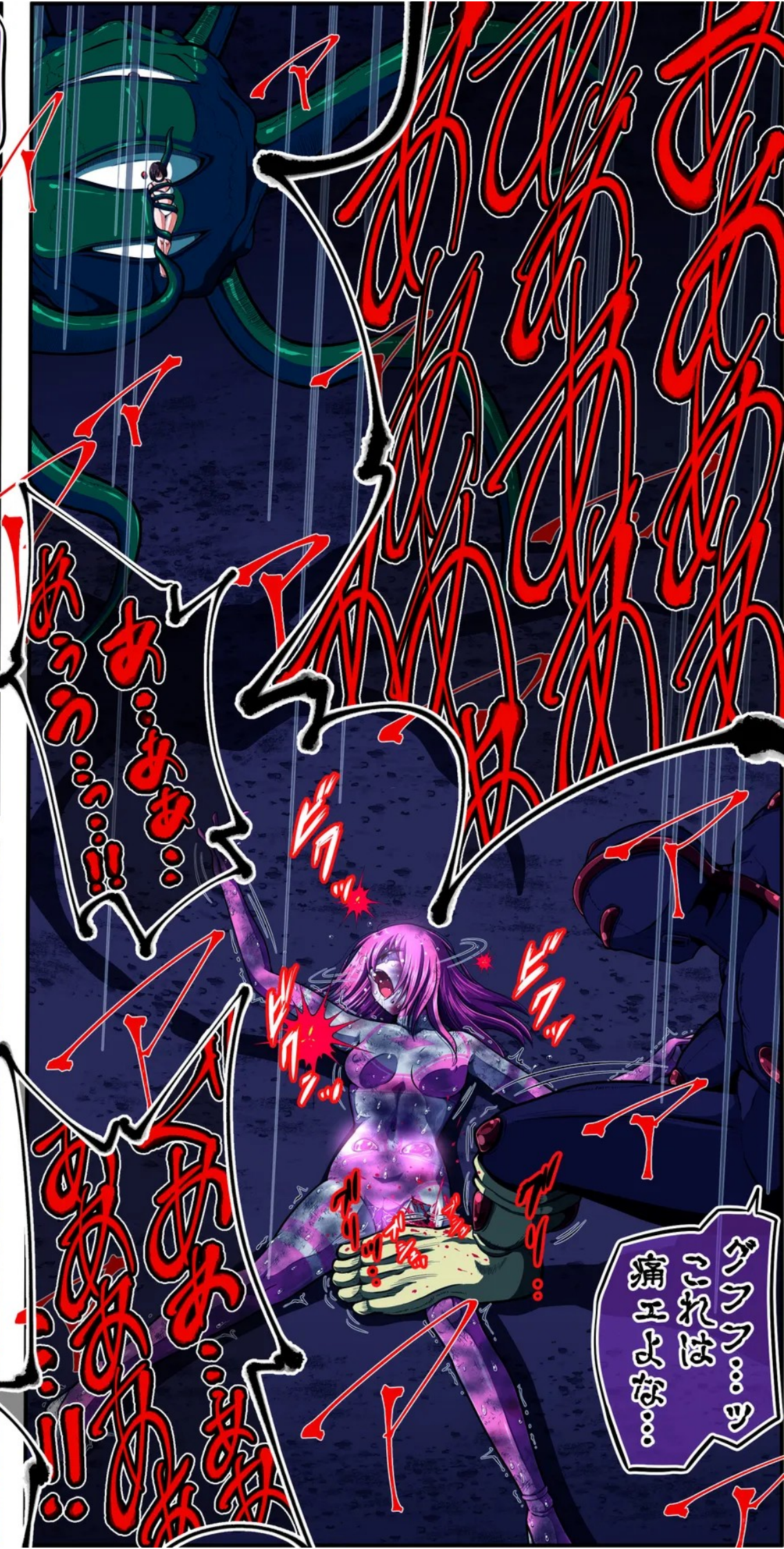
フン...  
びんやあ...  
フン...

お前の半身  
にもー...  
にもー...

鳴いて  
もらおうが...



!!



あ...あ...あ...  
あ...あ...あ...  
あ...あ...あ...!!

あ...あ...あ...  
あ...あ...あ...  
あ...あ...あ...!!

クン...  
これは  
痛エよな...



ひ……ひか……

う……う……



うあ……う……  
ああ……ああ……!!



あ……あああ  
ああ……!!



うあ……あ……あ  
あ……あ……

う……う……う……!!

ああ……

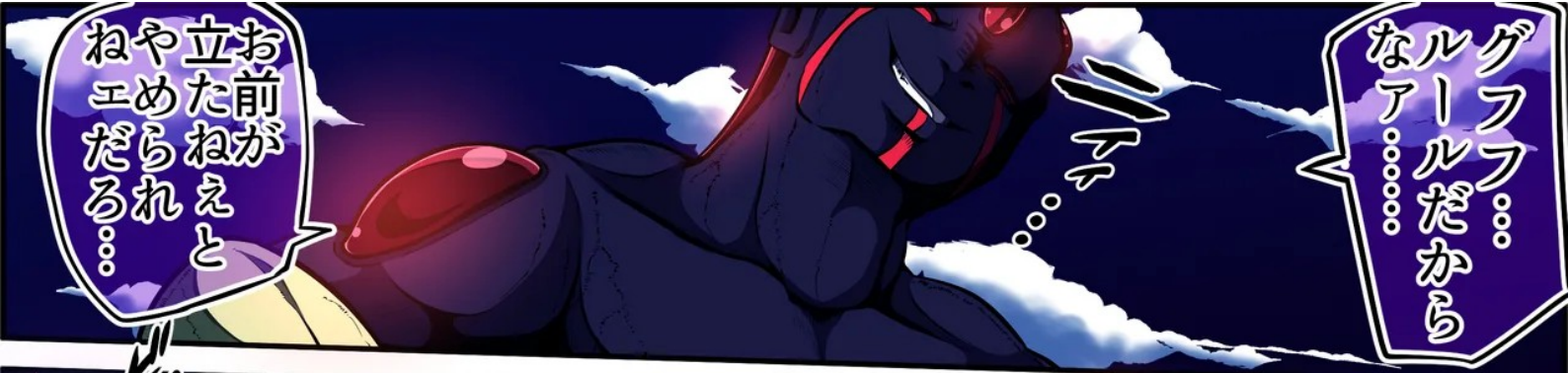


や……め……  
……!!

う……う……

お……願……

お……願……!!



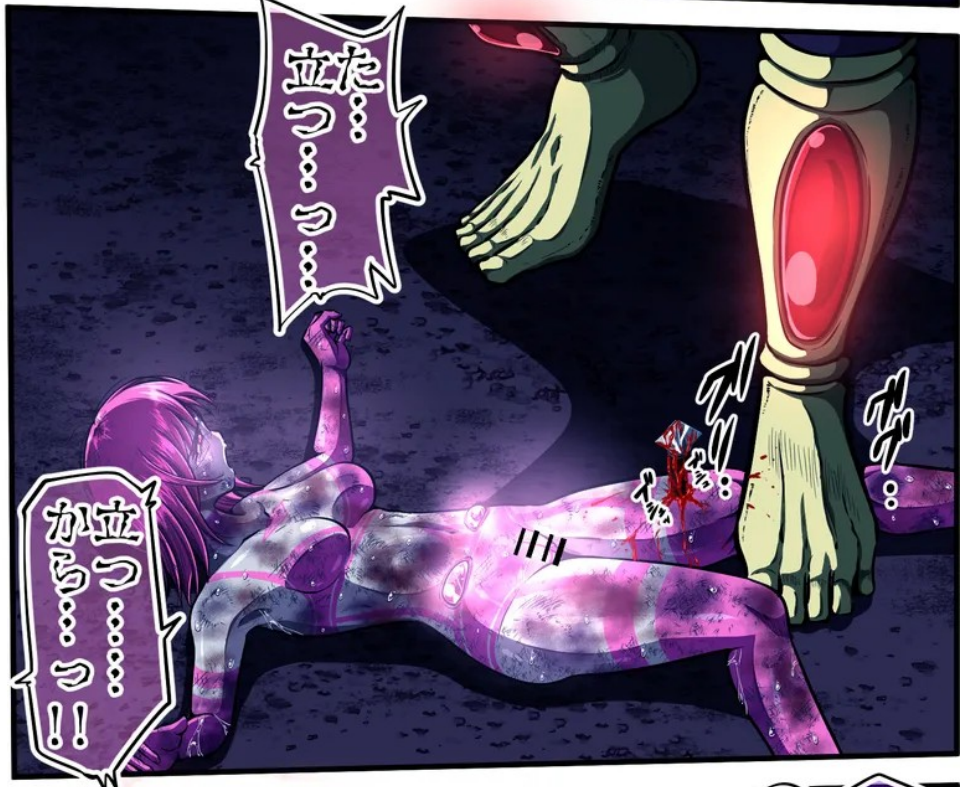
グフフ…  
ルールだから  
なア…

お前がえと  
立たねえと  
やめられ  
ねえだる…



ああアアアアア  
かアアアアア  
グフフ…  
グフフ…  
グフフ…

う…う…う…!!  
ぐう…う…!!  
ああ…あああ…  
う…う…!!



立た…  
つ…  
つ…  
つ…

か立ち…  
つ…  
つ…  
!!

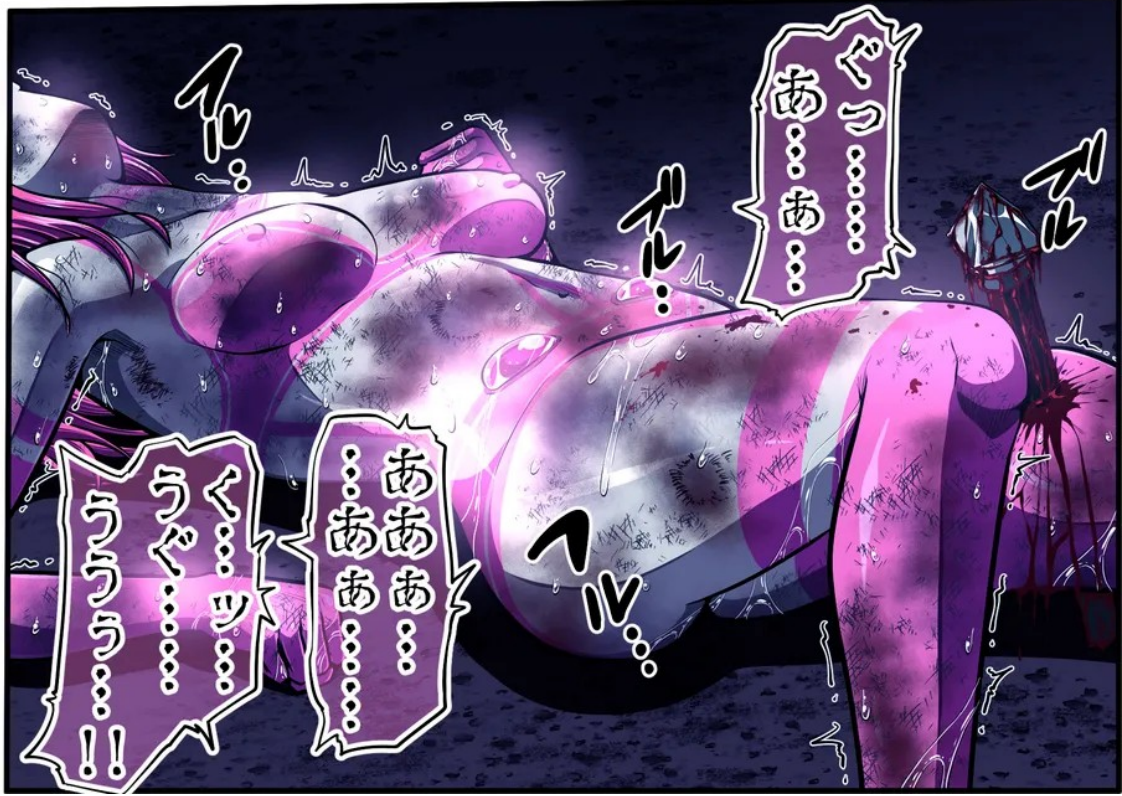


グフフ  
よしよし…  
じゃあ  
サービスだ…

踏むのは  
やめてよ…  
やるよ…  
オレは  
慈悲深い  
からよ  
おい



ハグハグハグ!!  
さら、ガンバレ  
ガンバレ!!



ぐう…  
あ…あ…  
あ…あ…

あああ…  
あああ…  
あああ…

くぐぐ…  
うぐ…  
うぐ…  
!!



あ？

なんだア？  
変な声出して  
よオオ...

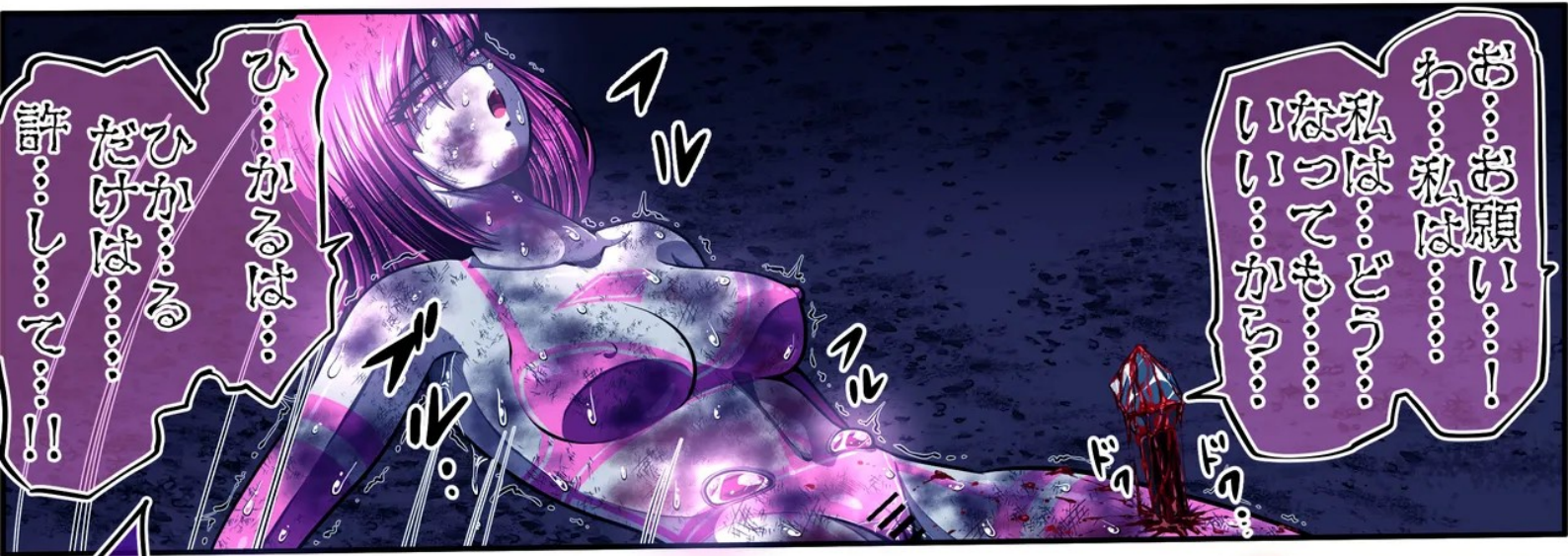


ん？

お...お...  
お...お...

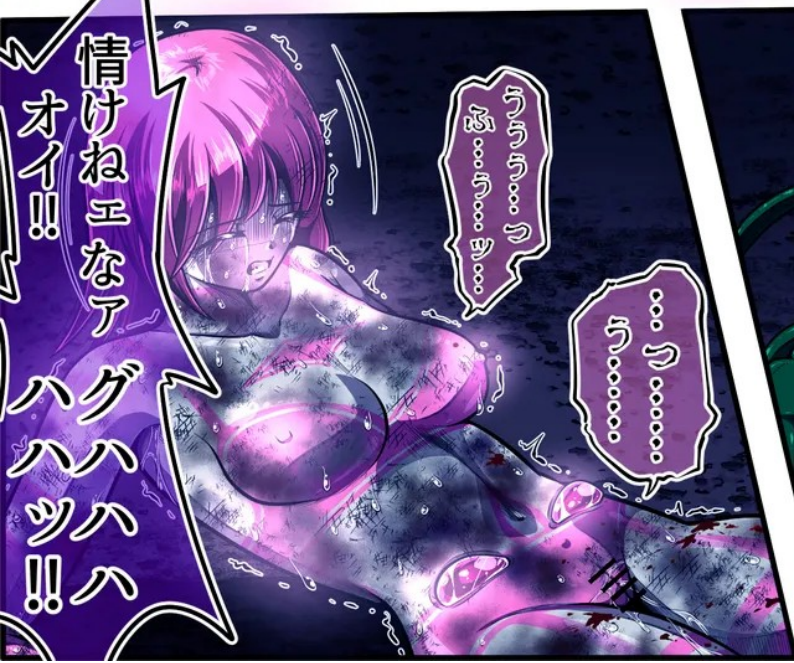
おね...が  
い...い...  
お願...い...  
で...す...

お...お...  
お...お...  
お...お...



お...お願...い...！  
わ...私...は...  
私...は...ど...う...  
な...つ...て...も...  
い...い...か...ら...  
い...い...か...ら...

ひ...か...る...は...  
ひ...か...る...  
だ...け...は...  
許...し...て...!!



情けねエなア  
オイ!!  
ハグ  
ハツハハ

お...お...  
お...お...  
お...お...

お...お...  
お...お...  
お...お...



姫サマ  
泣いてんの  
かア...？

なんだア？

グフフ...  
グフフ...  
フフツフ...！



あつ...ぶ...

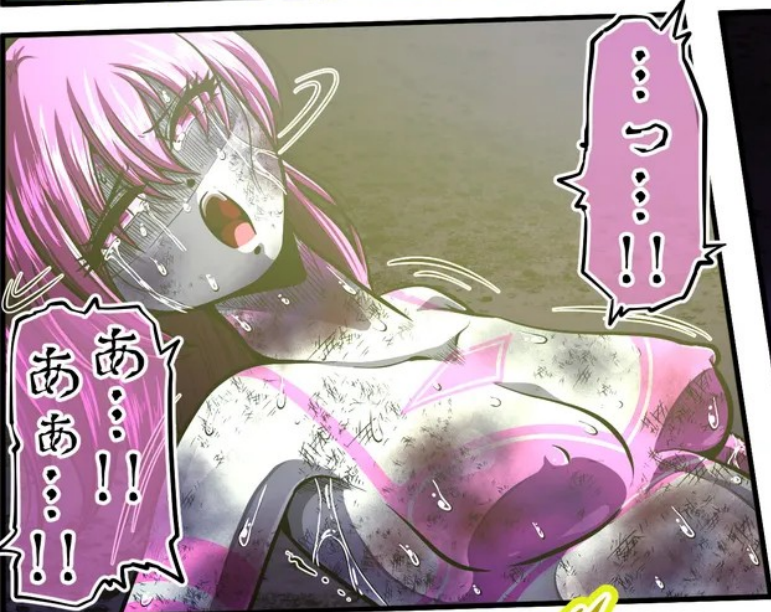
う...あ...あ...

ああ...あ...

ぐあ...あ...

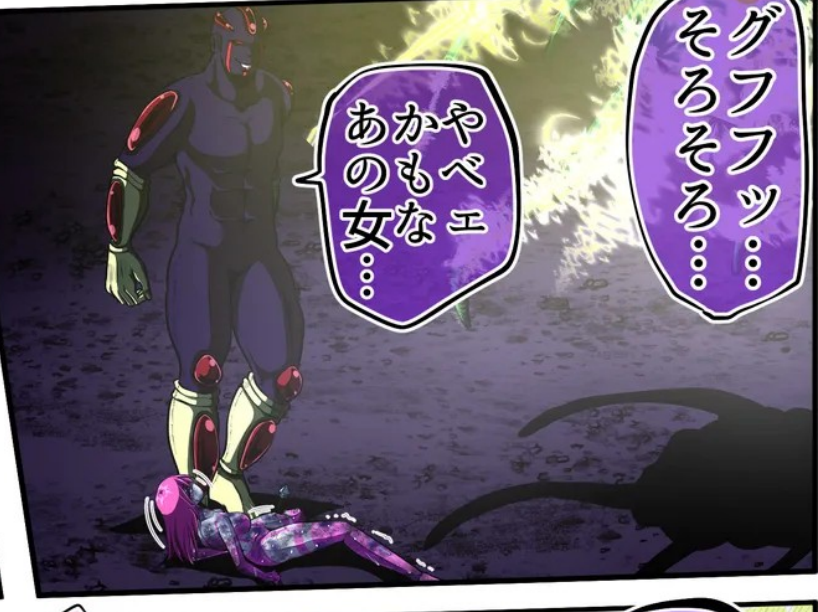
あは...あ...

ハオ...



...!!

あ...!!  
ああ...!!



グフフツ...  
そろそろ...

やべエ  
かもな  
あの女...



死ぬぜ

ヒメノ  
ヒカルがよ

あ...あ...

う...う...



お…お願い…!!  
お願いですっ!!

何を…

わ…私に…  
何をしても…  
いいから…!!

やめて…!!  
やめて…!!  
下さいっ!!!



オイオイ  
何だよ…

さっきまで  
オレを許さな  
だつて睨んで  
た  
オ…?

そんなヤツに  
言われても…  
聞けねエなア…

グフフ…  
フツフツ…!!

う…

…ツ…!!



あ…

謝り…ますツ!  
謝り…ますツ!!

申し…わけ…  
ありま…せんっ!!  
謝り…ますから…!!

お願い…です…!!  
光…だけは…!!



な…な…!!  
なんでも…!!

なんで…も  
しますツ…!!

なんで…も…!!  
言われた通り…た…  
します…から…ツ!!

だか…ら…お願い…!!  
お願い…光だけは…!!  
殺さ…ないでツ…!!

み…  
惨め…でも  
無様…でも…

なんだっ…て…  
いい…!!

お…お願い…  
お願い!!

仕方ない…って  
言っ…!!

光…さえ…!

『そのかわり…』って  
言っ…!!

光…さえ…助か  
れば…!!

なん…でも…  
するから…!!







ククク...

「オレは『メロ』じゃねえってよ

まったくよオオ...

ククククク...!!

ドム



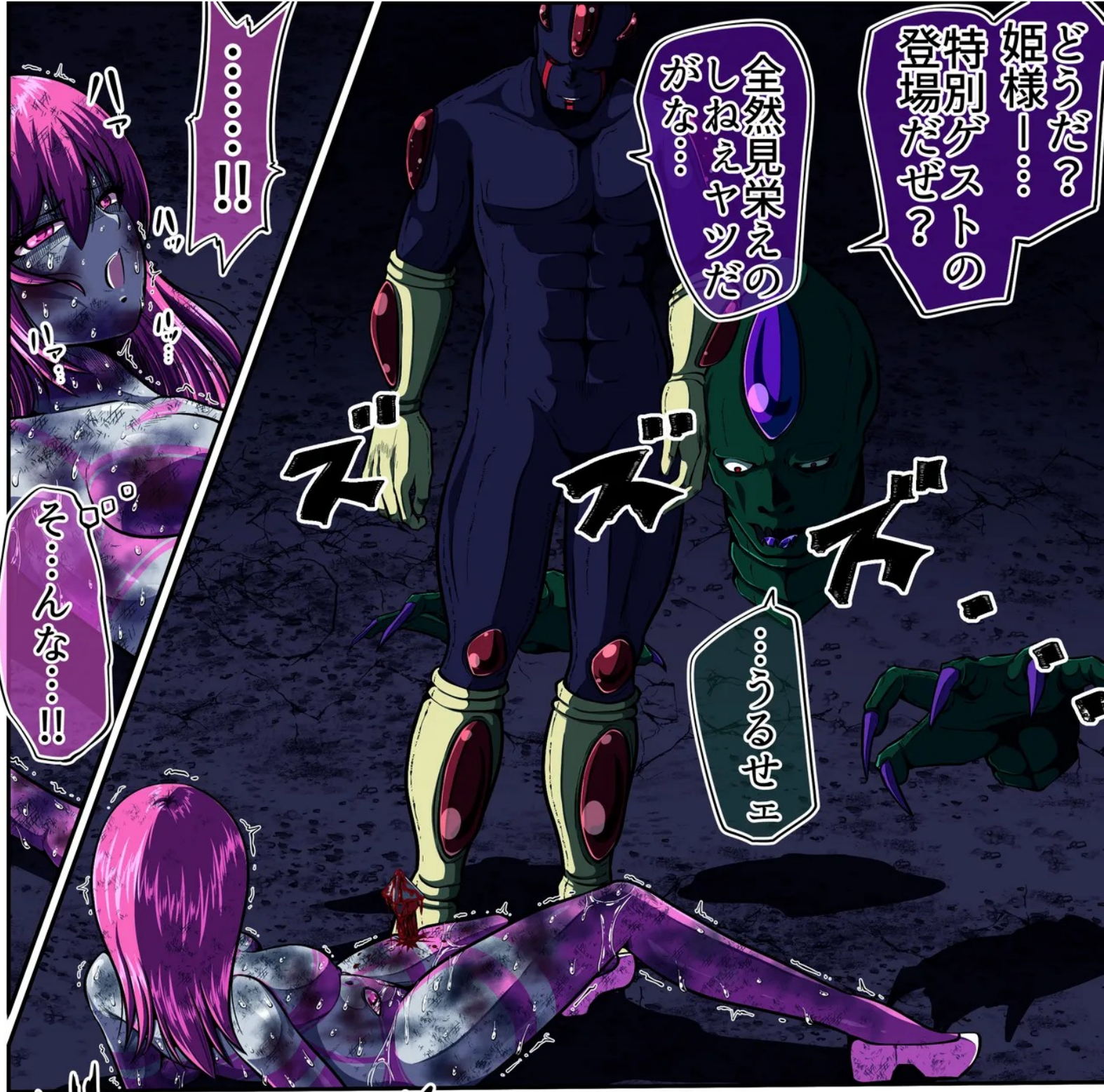
だえなしぶり

あ...!!

ドム

クイオの皇女

ドム

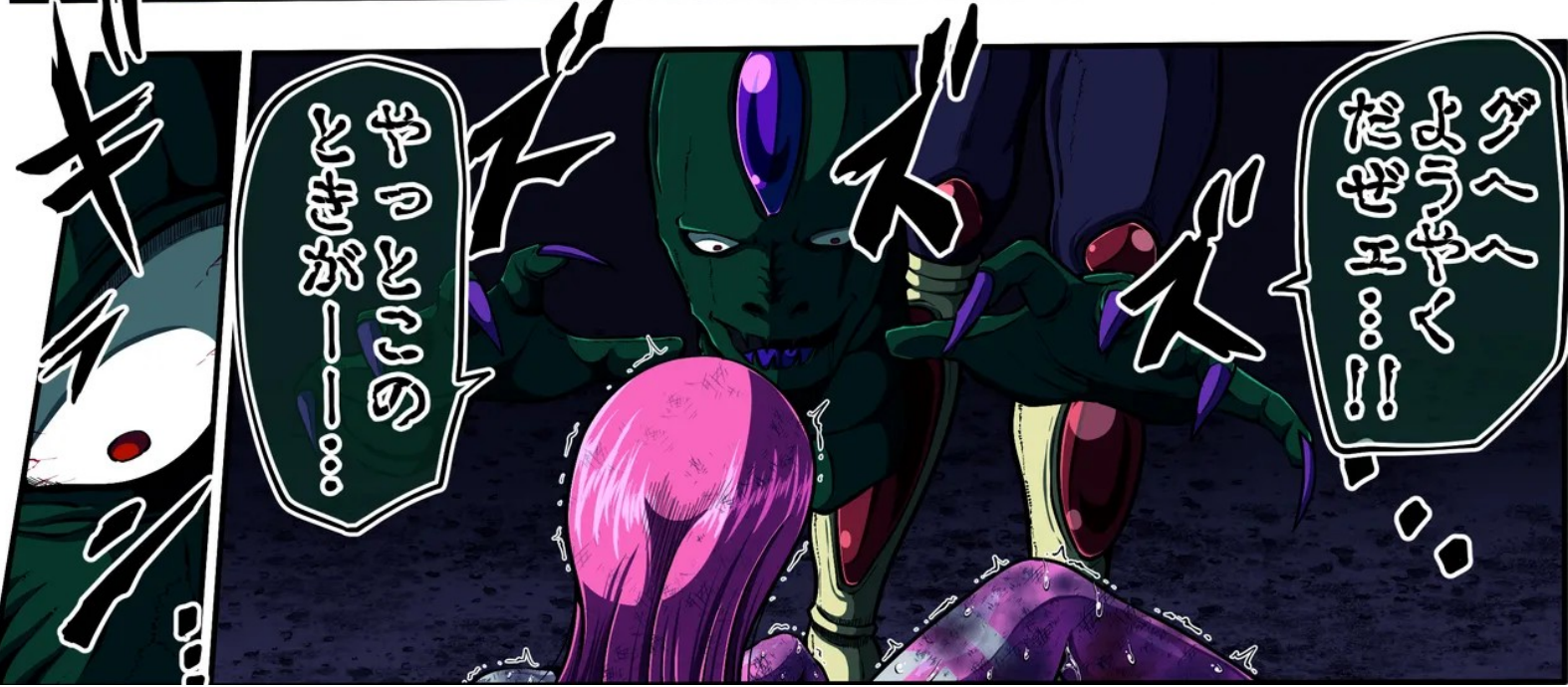


全然見栄えの  
しねえヤツだ  
がな...

どうだ?  
姫様!...  
特別ゲストの  
登場だぜ?

...うるせエ

そ...んな...!!



...おれ...

...!!

ゴゴゴ

ゴゴゴ



グヒヒツ!!  
ずいぶん  
痛めつけん  
られたけ  
みでエだな...

もうボロボロ  
じゃねエか  
よ...



そんな  
...のうえ  
まだ...

敵が...  
心...  
なんて...!!

...



グフフツ  
じゃあるー  
変更だな

ヒメノは  
少し休ませ  
やるよ

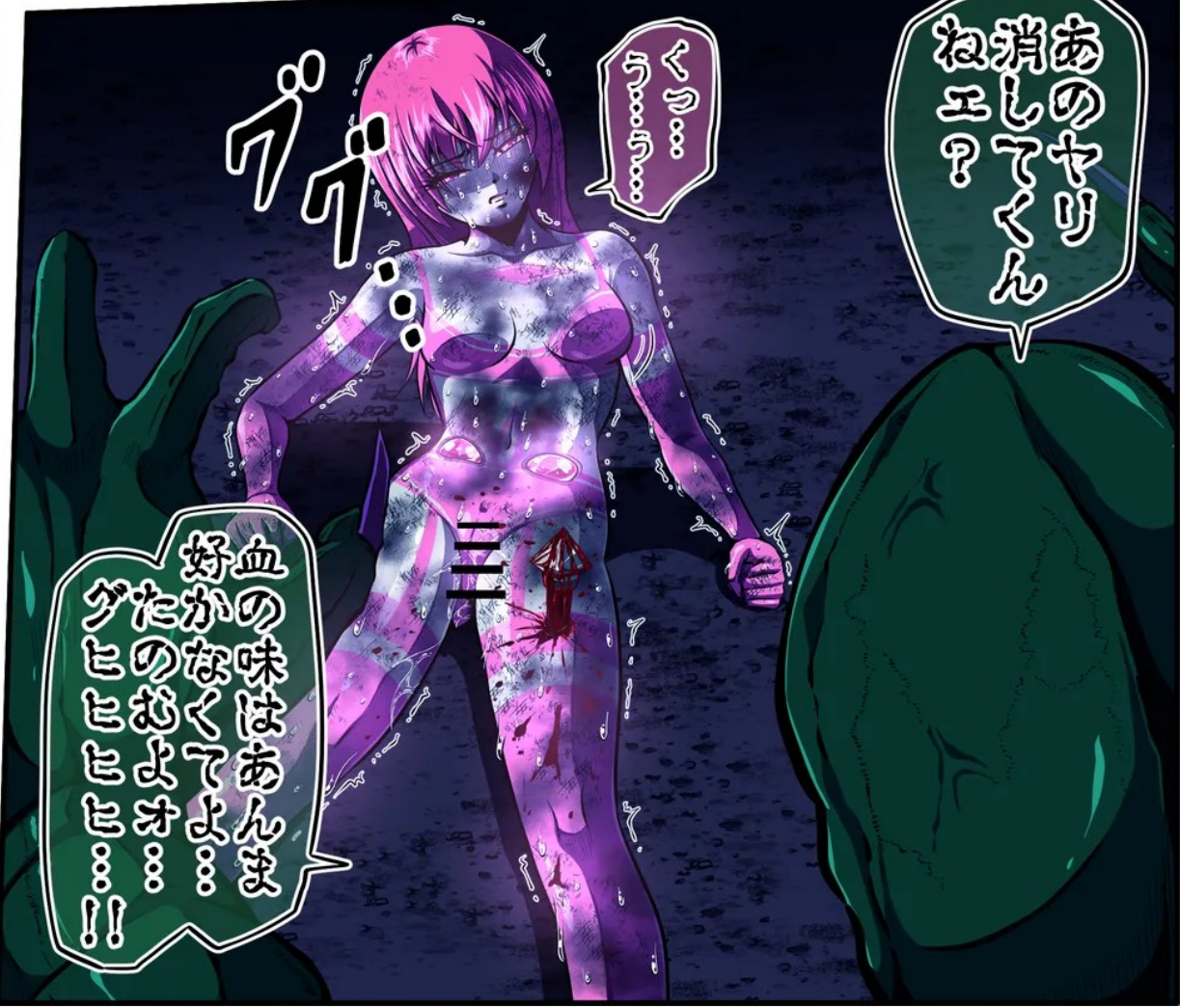
グヒヒツ!  
さすが  
お優しいねエ

あ、あと  
ついでに  
よ...



...フン  
ま、いい  
だるう

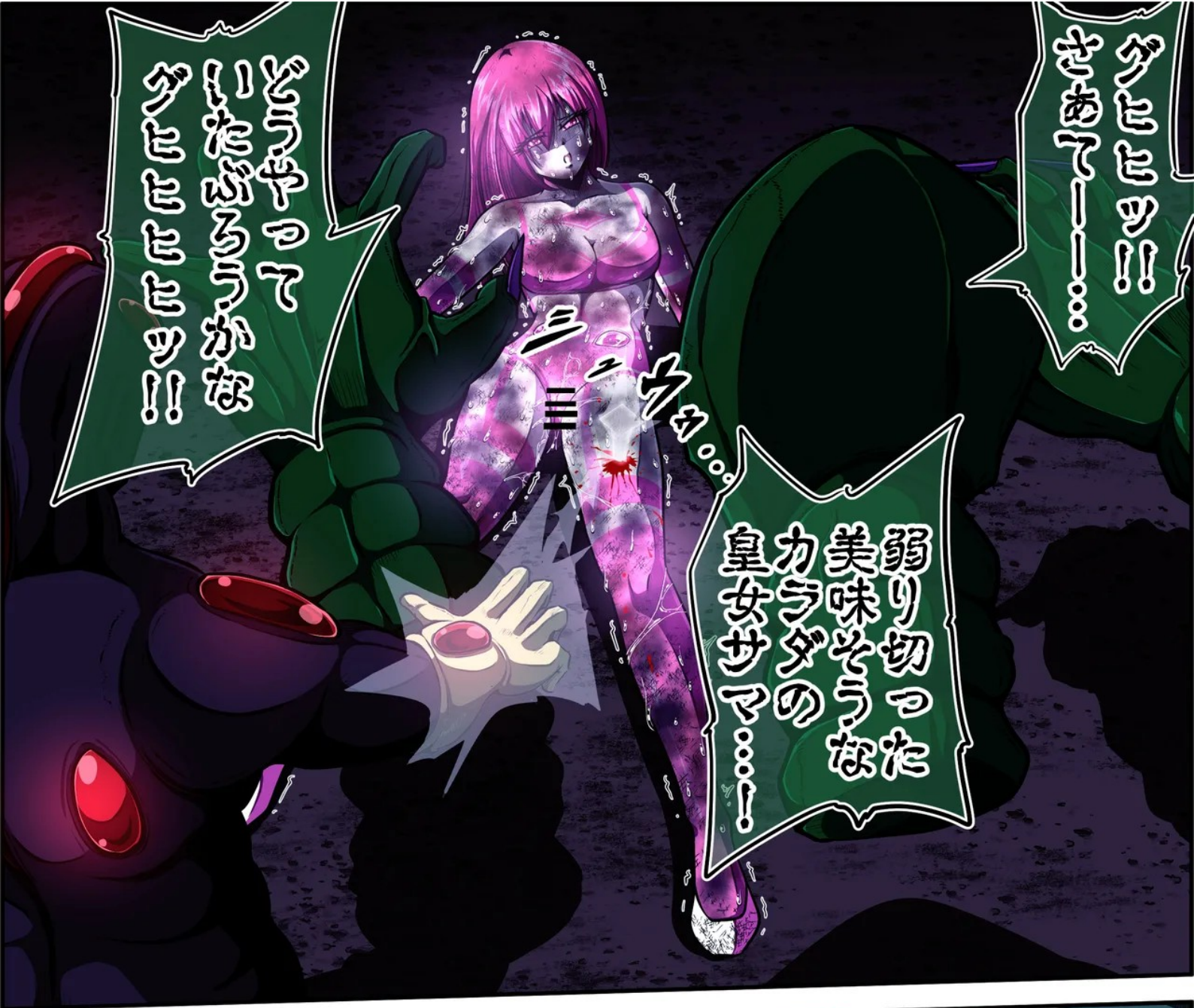
この女  
もうまじま  
動けない  
だるうしな...



あのヤリ  
消してくん  
ねエ?

く...  
...

血の味はあんま  
好かなくてよ...  
たのおよオ...  
グヒヒヒヒ...!!



せめてー!!

いかにうごかな  
タレタレツツ!!

弱り切った  
美味そうなた  
カラダの  
皇女サマ...!



光...!!  
光...ツツ...!!

私が...あきらめ  
たち...光は...!!



う...あ...  
あ...!!

ラフイオ...  
...!!

た…立て…!!  
立つ…のよ…!!

やりは…  
消えて…る…

だ痛…  
つてみ…  
!!!

光…の…!!  
光…の…命が…

かか…  
つ…て…  
る…か…  
んだ…  
から…!!

ファイオラは  
立ち上がる

もはや

この敵たちに  
勝つことは  
出来ない  
とわかっていても

光を助ける  
ために…!!



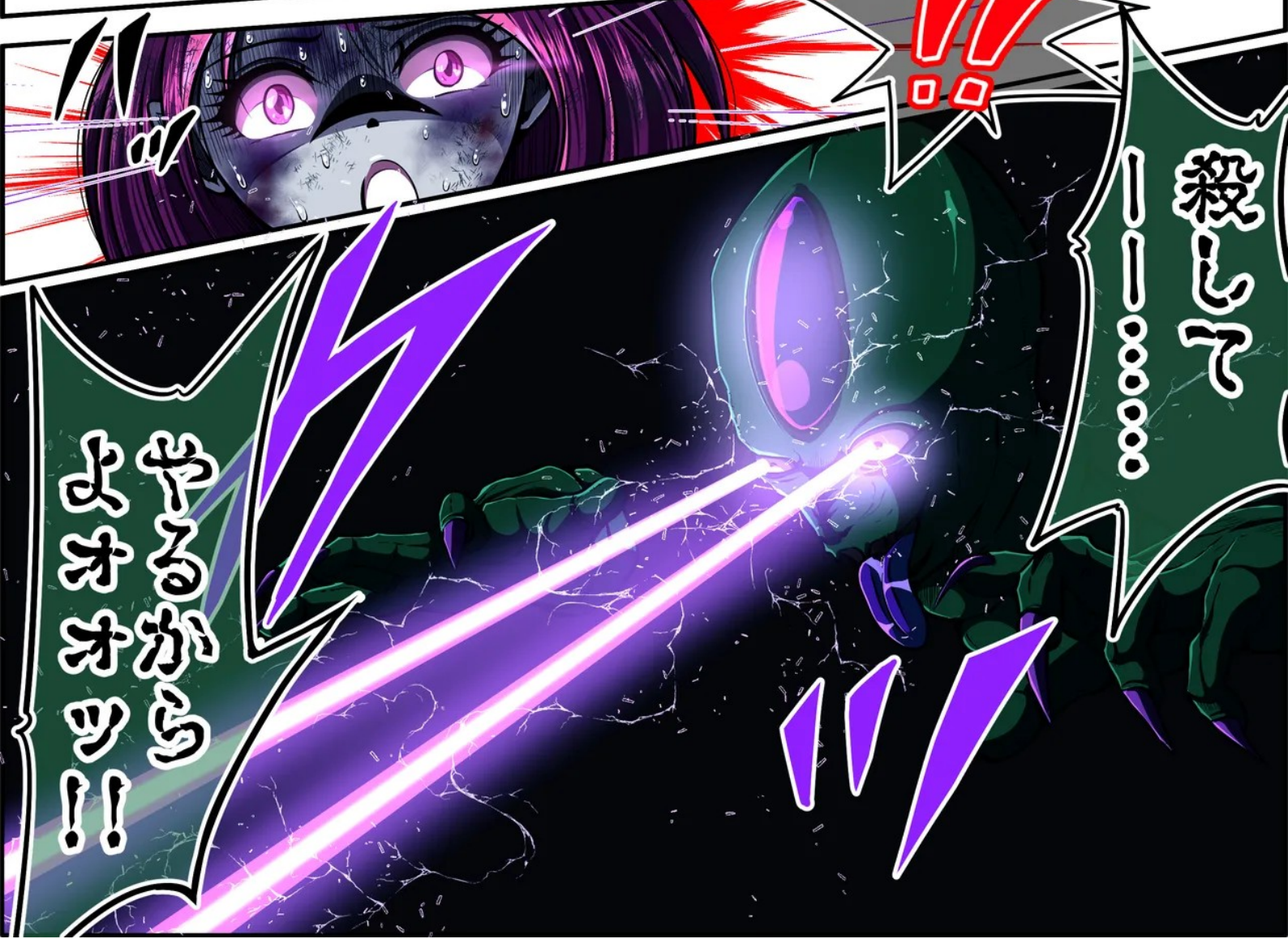
ヒメノが  
心配かア?  
皇女さま  
よオオ!!!

クヒヒツ...  
あの女...!!!



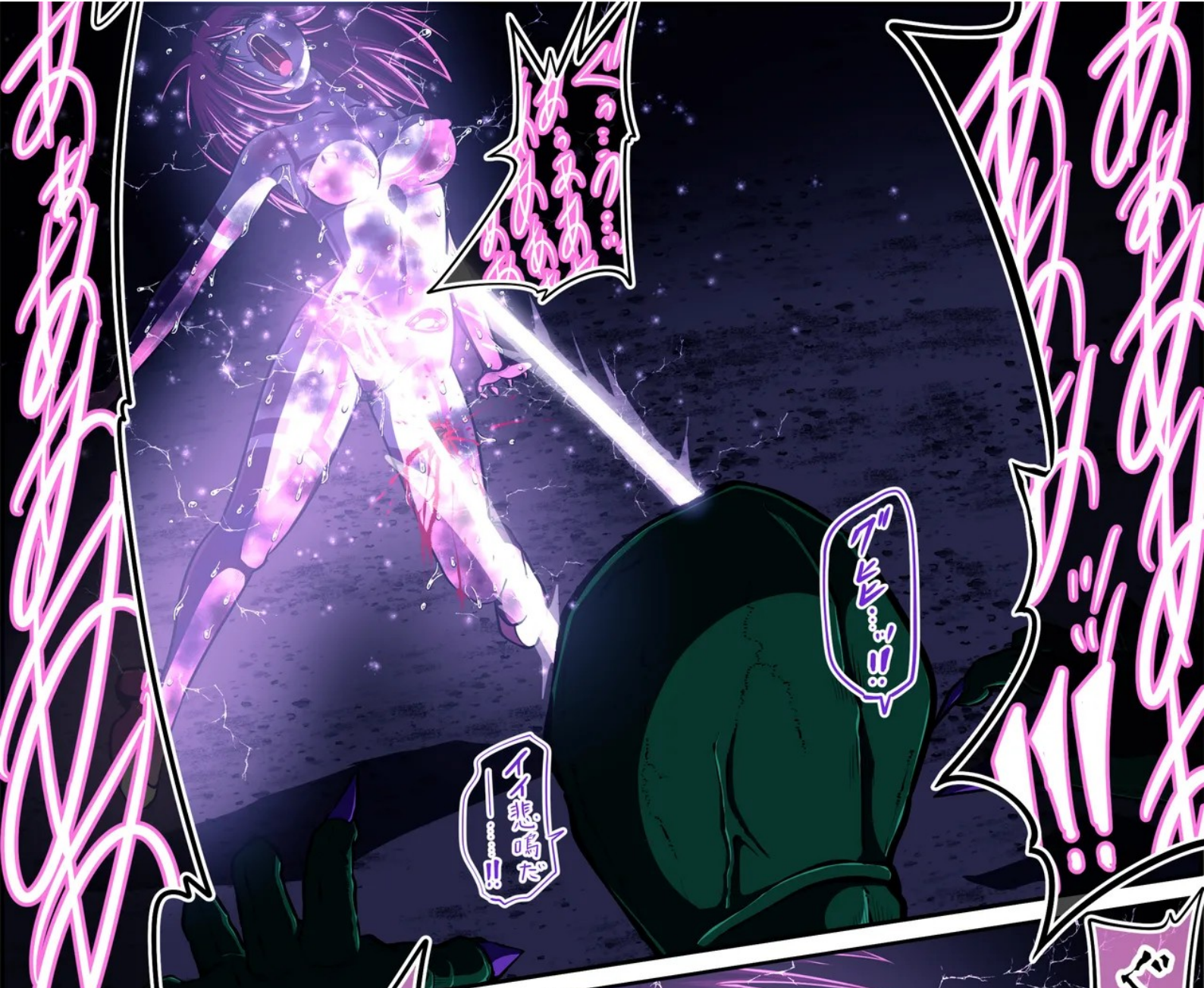
ヒヒヒ...  
心配ねエゼ

お前ら  
ふたり  
まじめ  
すぐに...



殺して  
.....

やるから  
よオオ!!!



あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ

アイ悲鳴だ

アイ悲鳴だ

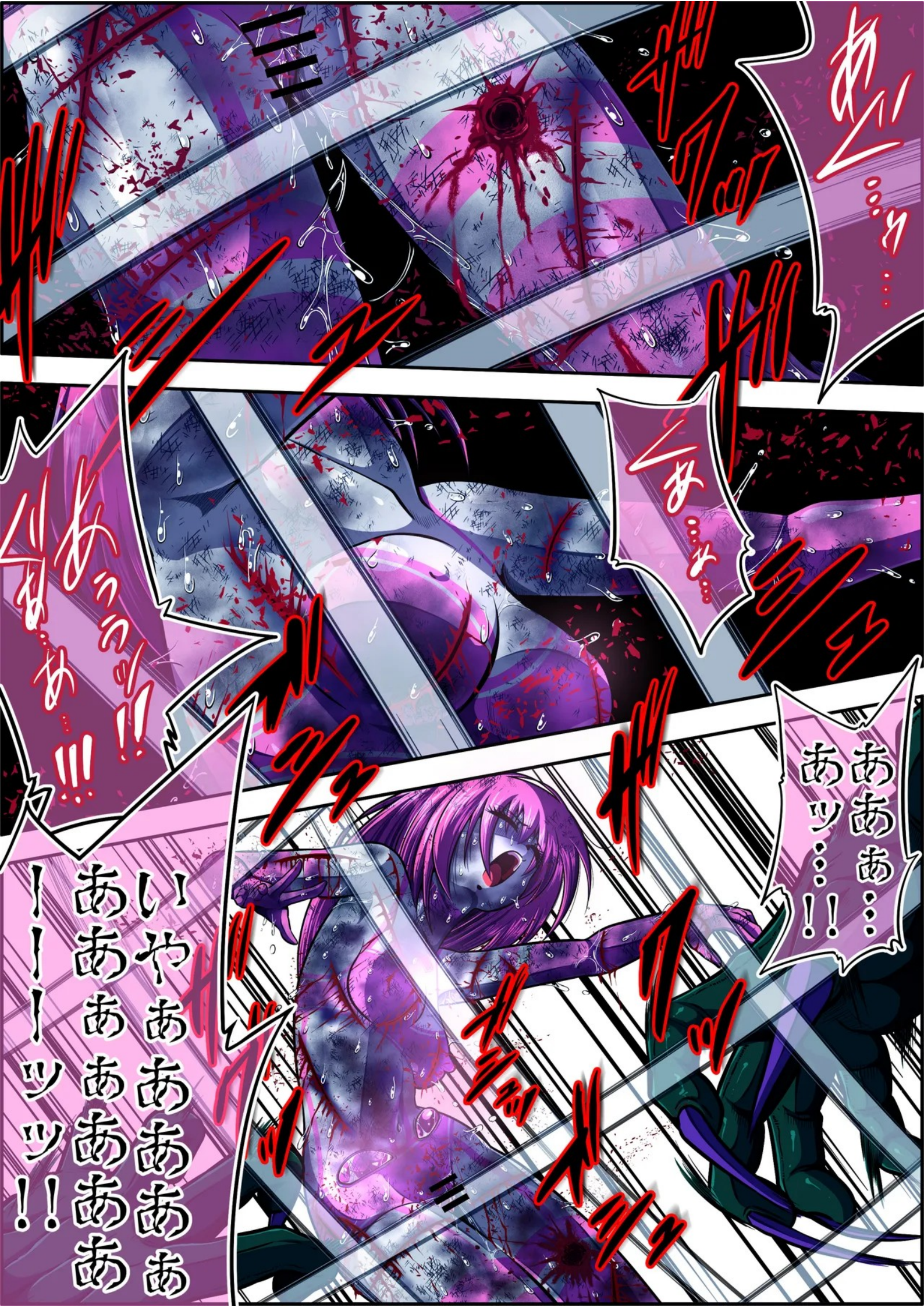


あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ  
あああああ

うあ...あ...  
...ツ!!

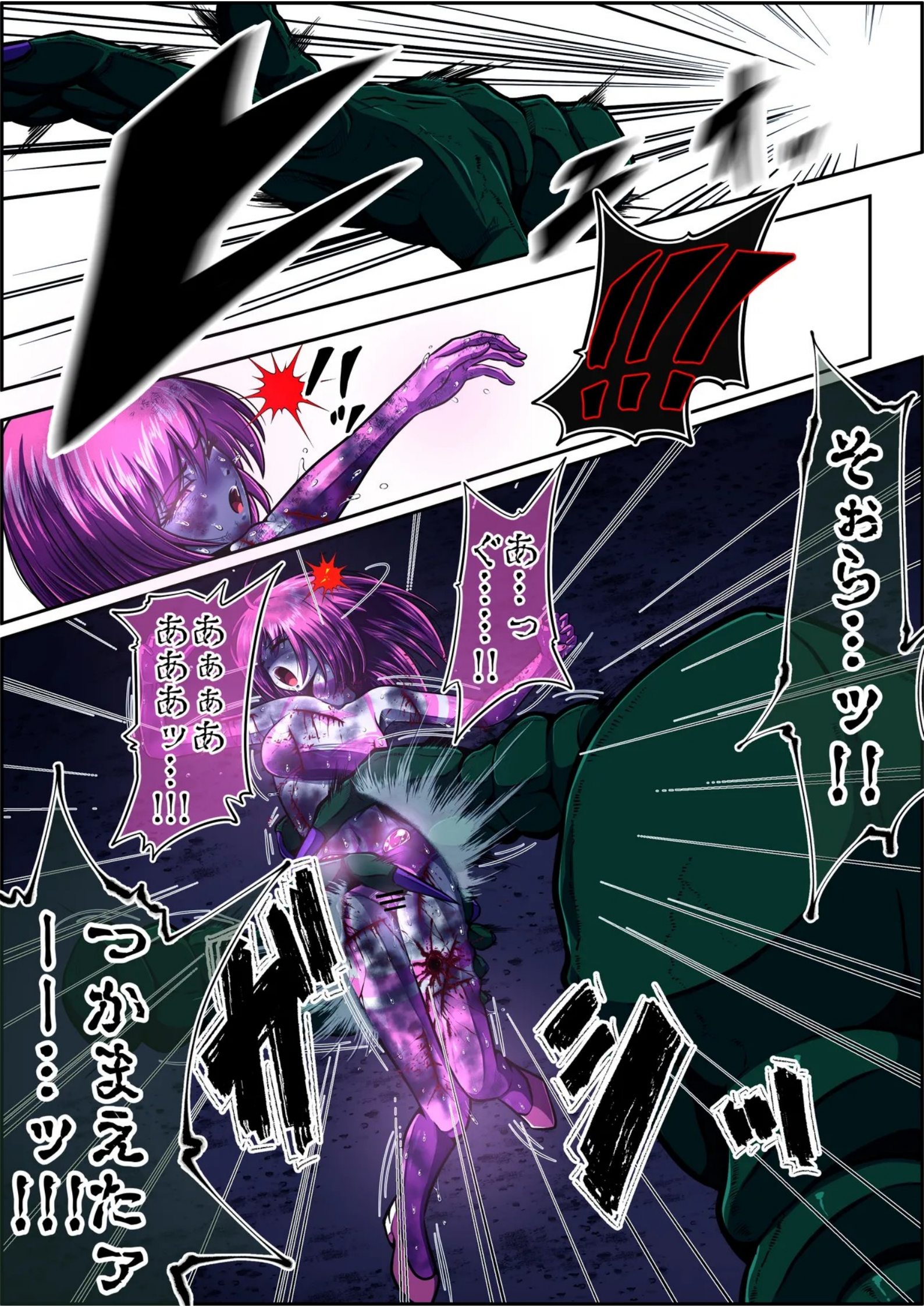
うあ...あ...  
...ツ!!





あああ…  
あッ…!!

いやはああああ  
ああああああ  
ッッ!!



あ...あ...あ...!!

あ...あ...あ...!!

あ...あ...あ...!!  
あ...あ...あ...!!

あ...あ...あ...!!  
あ...あ...あ...!!



いっかのとき  
はマが入った  
けどオオオ...

ニヤ...

ニヤ...



オオオオオ...  
オオオオオ...  
オオオオオ...!!

ツロツロ  
と苦しめてやる  
からな...!!



今回は  
オオオ...

あ...  
ああツ...!?

ああああああああ  
ツツツ!!!



ああああああああ  
ツツツ!!!

オオオオオ  
オオオオオ  
オオオオオ  
オオオオオ

助けは  
来ぬエ…!!

せいぜい  
苦しんで  
死ねエツ…!!

ダ…ダメ…  
ど…毒が…

今…それ…

イ…

…

…

…

グヒヒヒ…  
こりゃ  
最高だぜエ

ニク…

ファイオラを  
一方的に  
出来るとは  
なア…!!

クク…!!  
クヒヒツ…!!

オイオイ  
美味そうな  
トロトロのマ○汁  
垂らしやがって…  
今夜は死ぬまで  
味わってやるから  
よオオ…!!

ニトロ…  
チユ

う…  
あ…

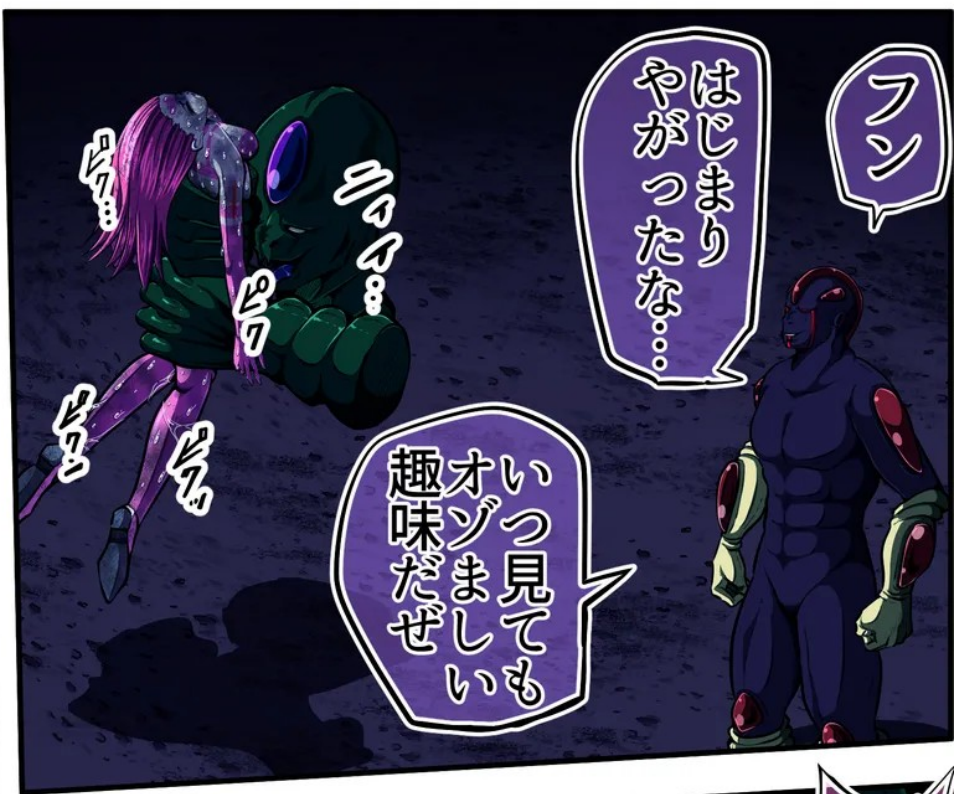
い…  
や…

た…すけ  
…て…



まったく…  
テメエで血の味は  
好かねエとか  
言つときながらな

散々斬りつけ  
やがつて…  
血まみれ  
バカ野郎がよオ…



はじまり  
やがったな…

フン

いつ見ても  
オゾましいも  
趣味だぜ



あ…あ…!!  
く…ああ…!!!

あア…!!!  
や…め…!!!

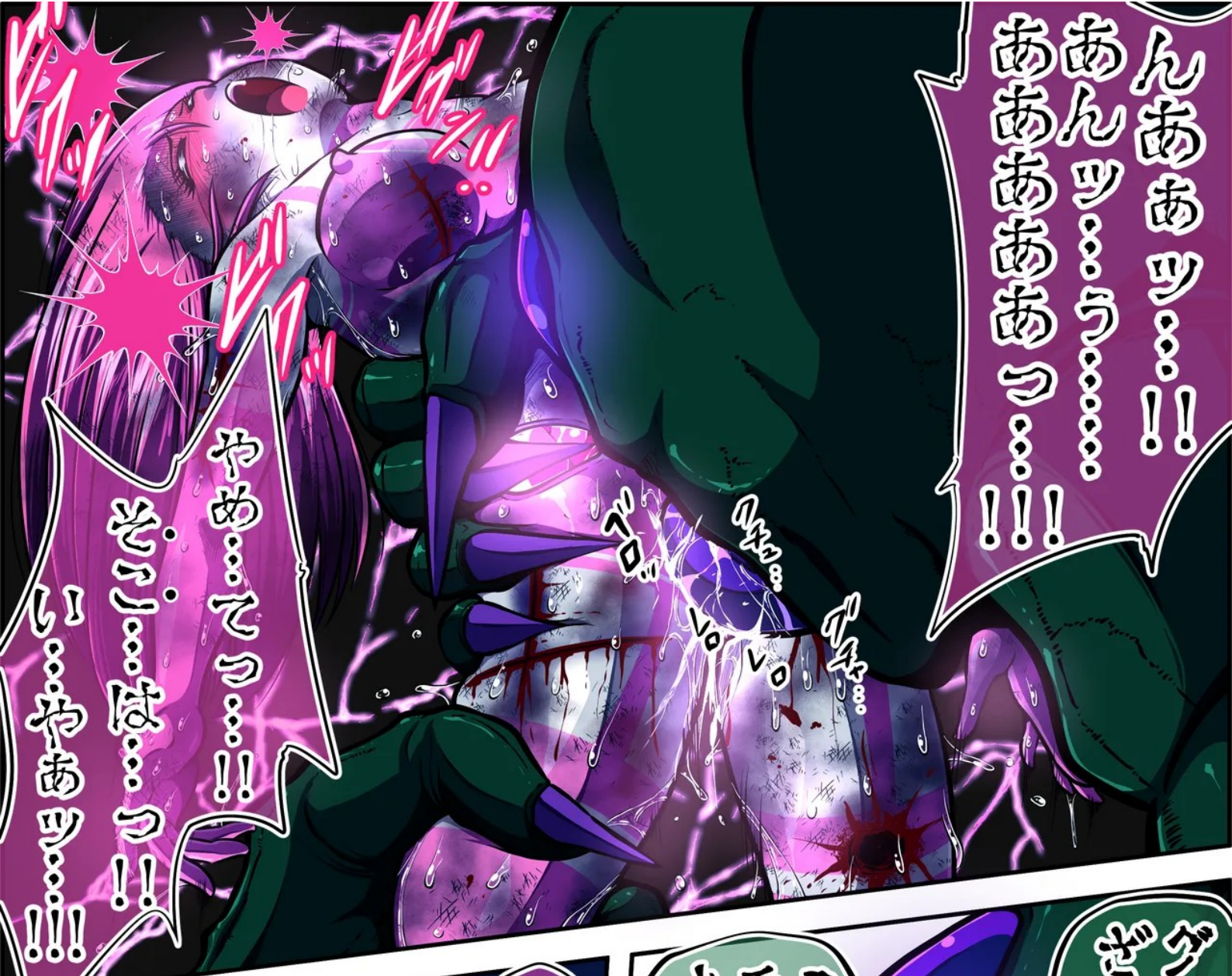
うめ…!!  
んめエ…!!

グヘ…!!



うめ…!!  
今ぞぞ…!!  
—…!!

全…然…!!  
すげえ…  
うめエよ…!!  
うますぎだ  
ろオオ…!!!



んああツ…!!  
あんツ…う…  
あああああ…!!!

やめ…て…!!  
さ…あ…!!  
い…あ…!!!

あ…あ…  
あ…あ…  
あ…あ…



さ…あ…!!  
あ…あ…!!

こんなに  
垂らじといて  
よオオ…!!!  
あ…あ…!!

あ…あ…  
あ…あ…

あ…あ…!!  
あ…あ…!!  
あ…あ…!!  
あ…あ…!!



あ…

ダメ…だ…

ウ

ウ

ウ

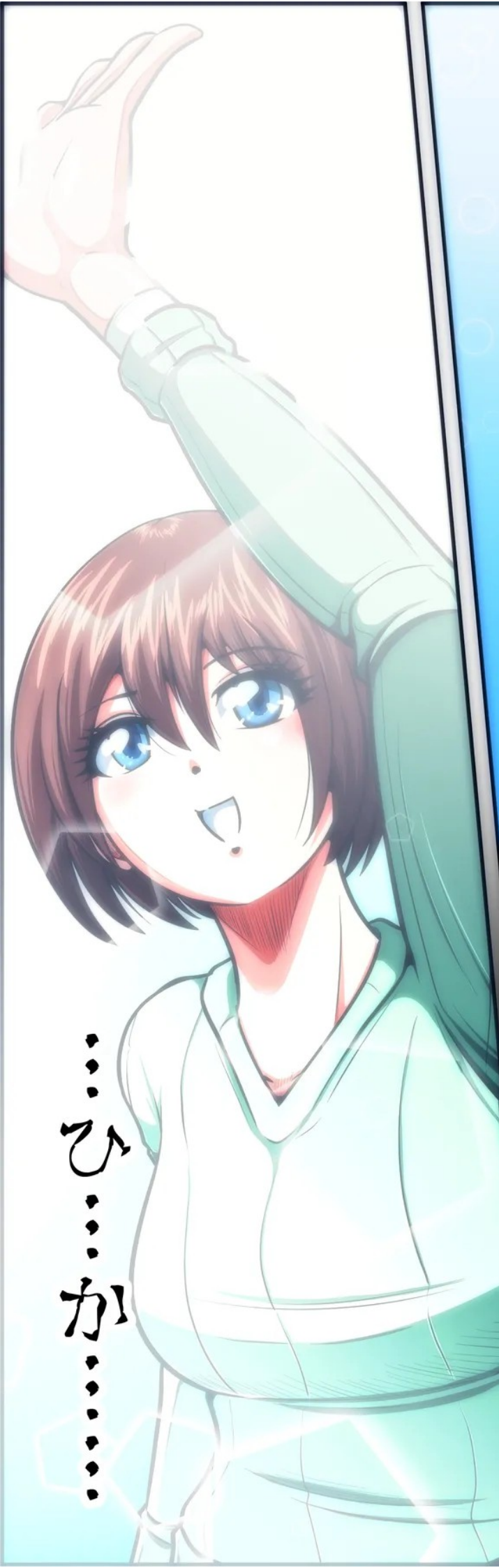
こ…これ…

き…う…

わた…し…

こわれ…

…て…

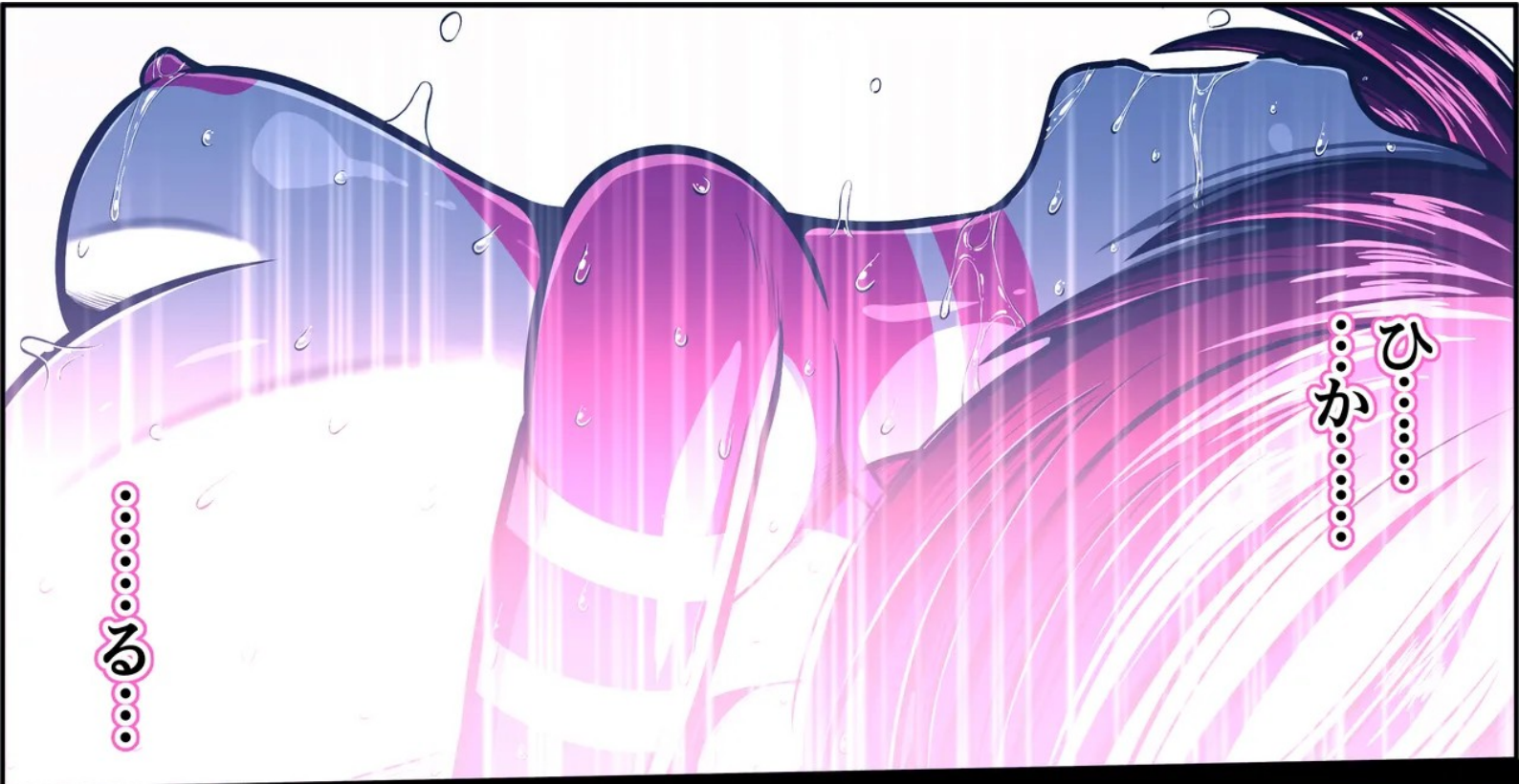


.....  
ひ.....  
か.....



.....  
あ.....





.....  
ん.....

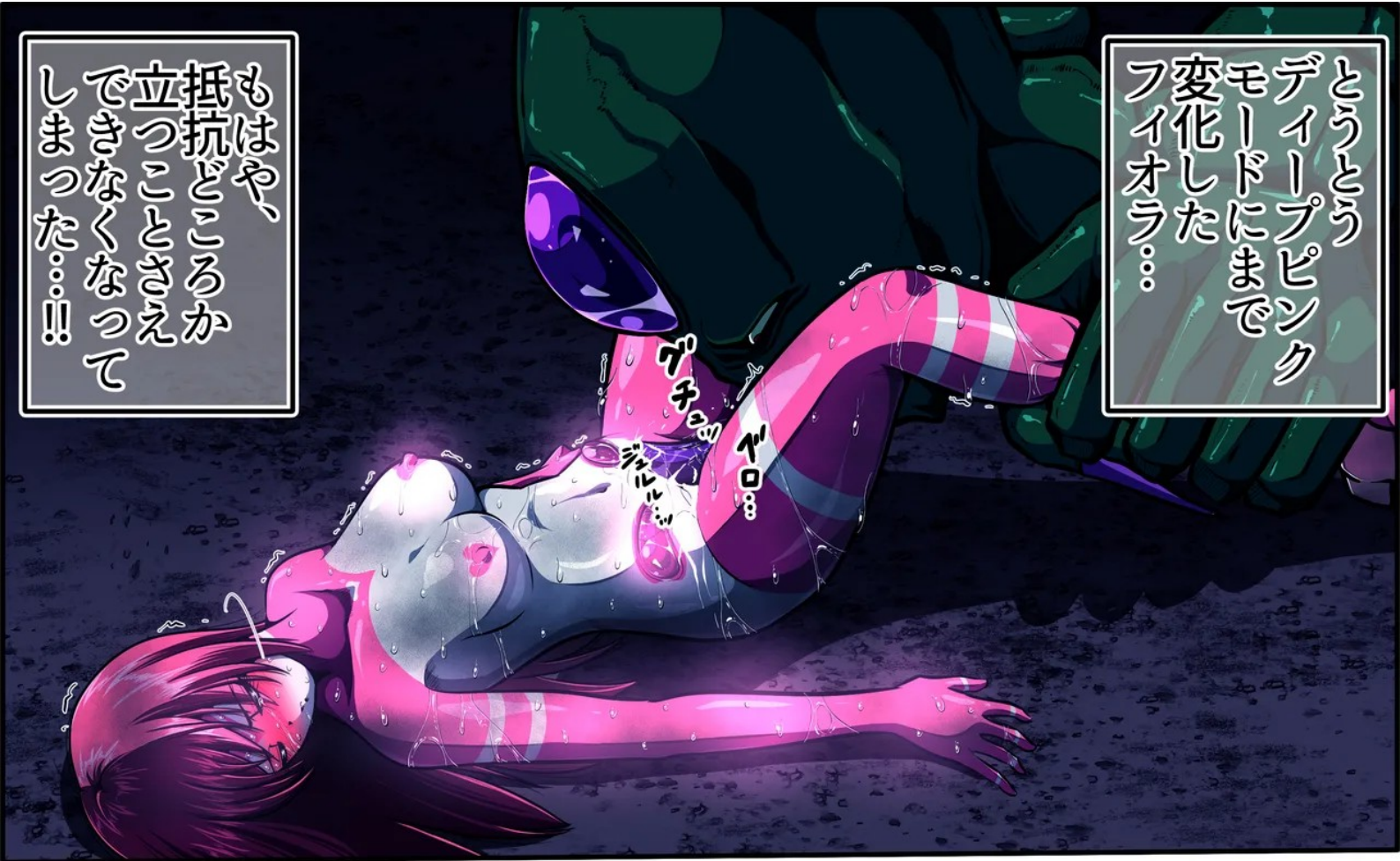
.....  
ひ.....  
か.....





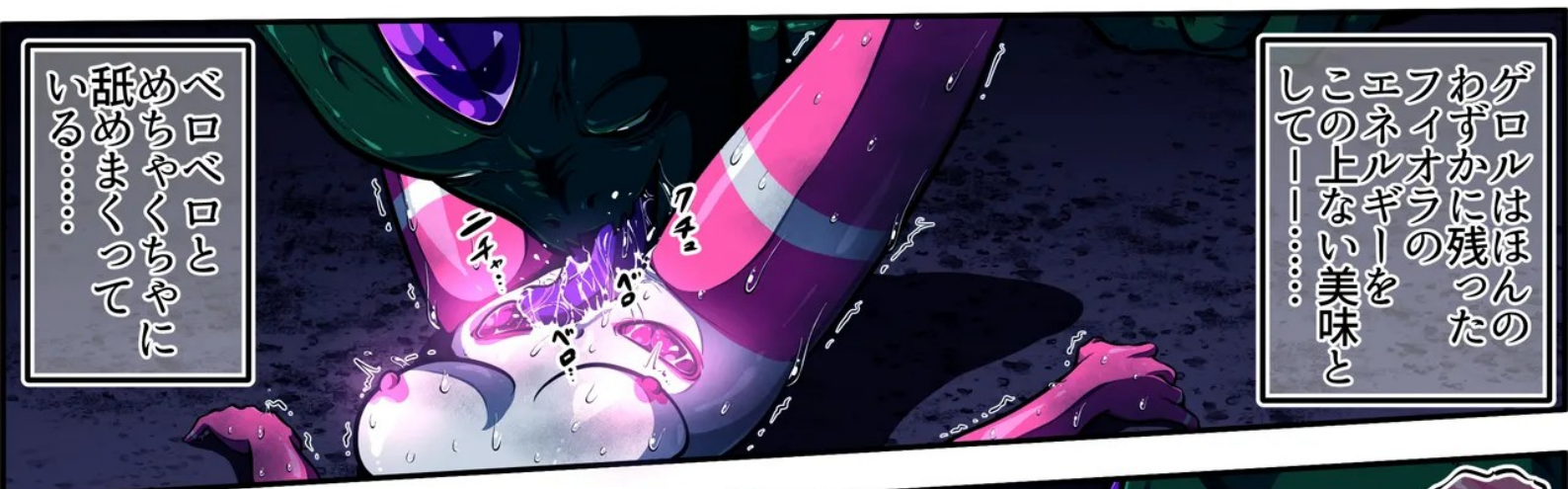
とうとう  
ディーブピンク  
モードにまで  
変化した  
ファイオラ……

もはや、  
抵抗どころか  
立つことさえ  
できなくなっ  
てしまった……!!



ゲロルはほんの  
わずかに残った  
ファイオラの  
エネルギーを  
この上ない美味と  
して……!!

ペロペロと  
めちやくちやに  
舐めまくって  
いる……



……あつ……  
う……

ん……ん……  
ん……ん……

ん……ん……!!  
ん……ん……!!  
あ……あ……!!  
あ……あ……!!



グフフツツ...  
まさか  
この女.....  
さらに  
状態変化を  
するとは...な

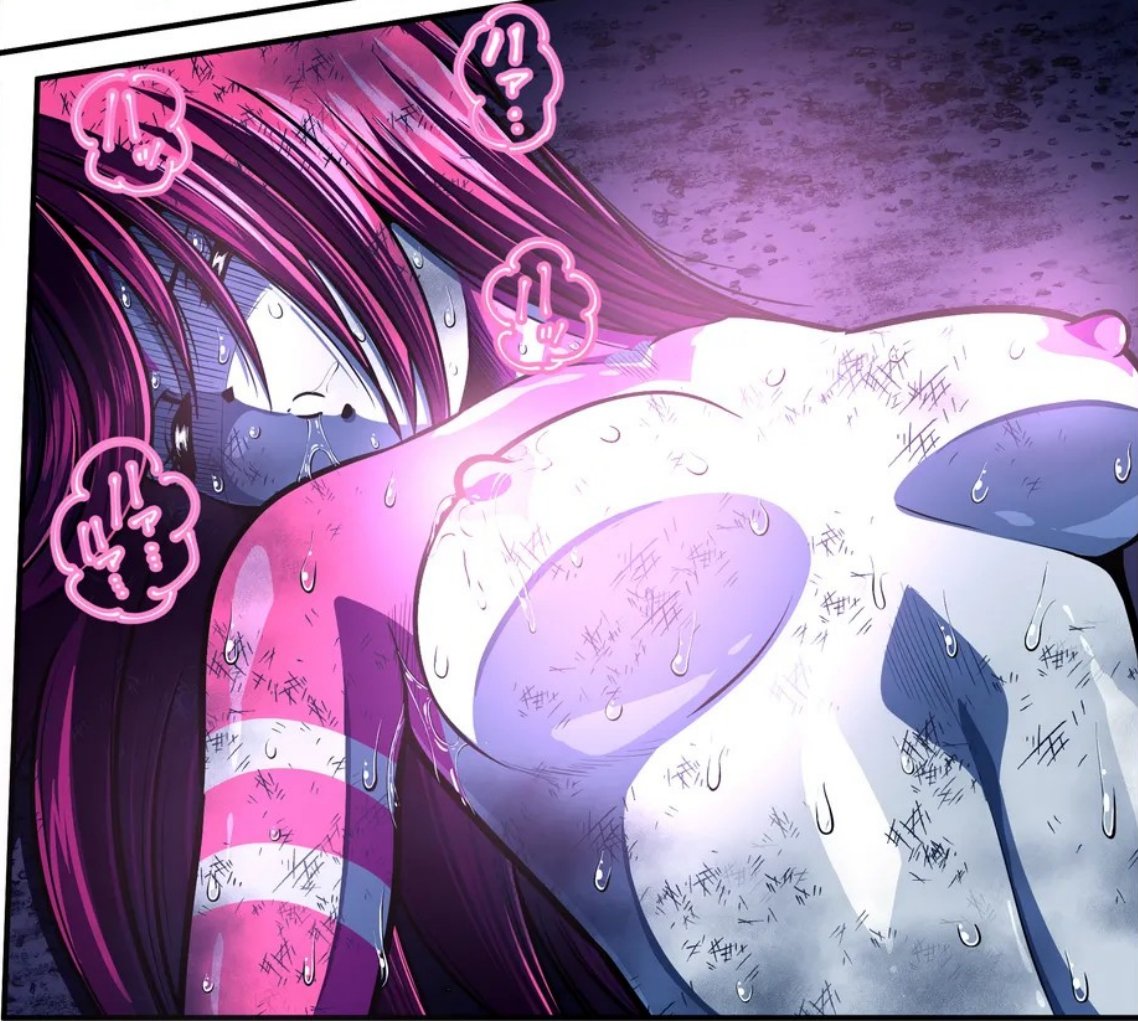
恐らくこれが  
あの.....

『計画』の成果  
というワケか...  
もはや皇女に  
抵抗のすべは  
あるまい.....

良い声  
...だ...

ハッ?

ハッ?



.....

ねえ...!!  
...たまたま



んんめめ...!!

グッ...グッ...!!

おい...!!!



!!



...ど...が!!!

...おし...が!!!



...!!

オレ... たぎ... きちま...!!!

ズ

ズ

グ

見るも  
無惨な...  
光景だった

ヒ

コ

ウ

それは

もはや半死半生の  
ファイオラ姫をー.....

ブラン星人は  
再び激しく...  
犯し始めた  
のだ...!!

ただただ  
ひたすらに  
ー.....

ディープピンク  
モードの姫は  
完全にされるが  
まま.....

そのカラダを  
ー.....

敵のー……



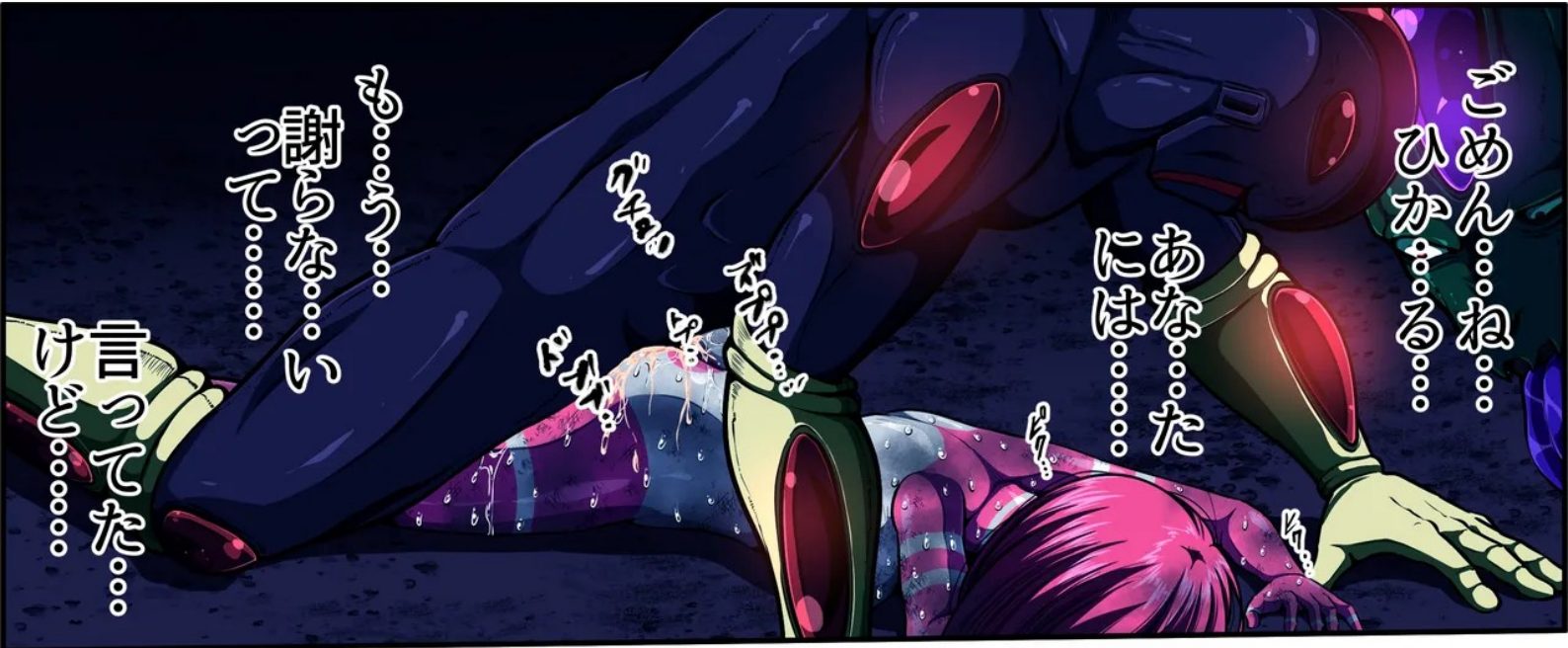
おもちゃ  
玩具のように  
ー……!!

ファイオラは  
朦朧とする  
意識の中で  
ー……

それでも肉槍を  
突き挿れられる  
感覚にー……

本能的に  
快楽を感じて  
しまっていた

グイ……

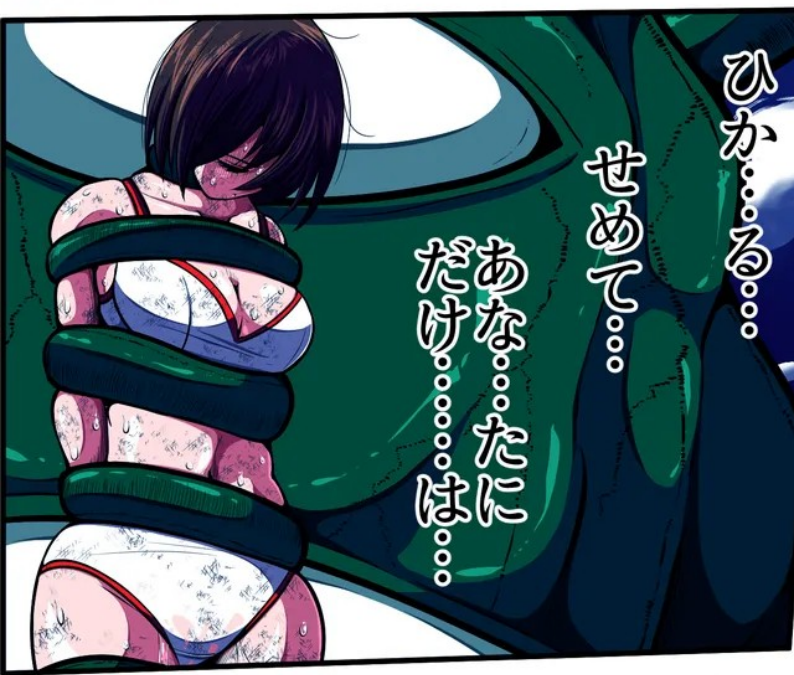


「めんね…  
ひかるる…」

あなた…  
には……

……  
謝らな……  
つて……

……  
言……  
……  
……  
……



ひか……る……

せめて……

あな……たに  
だけ……は……



わた……し……  
貴女を……

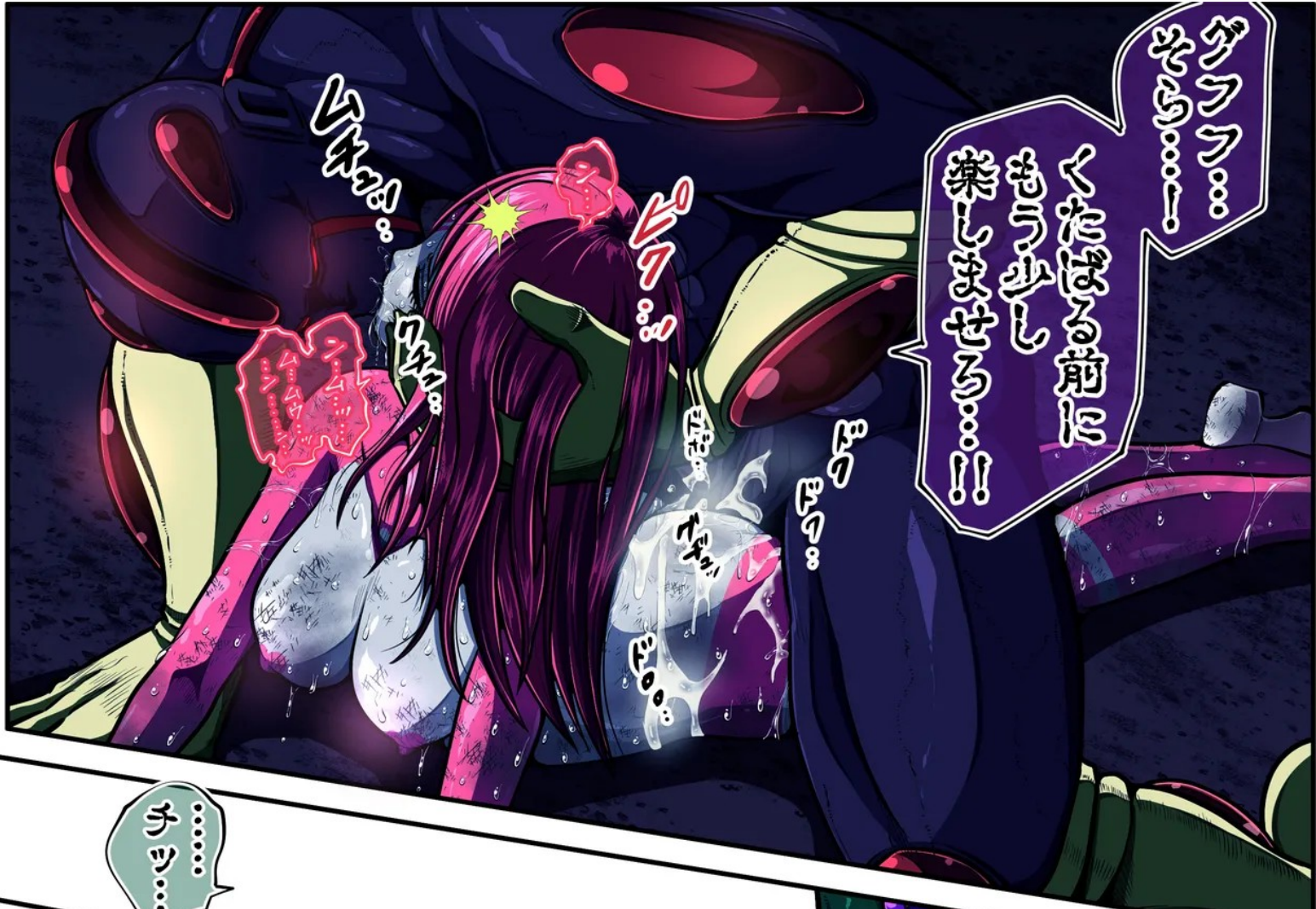
守れな……  
……  
……  
……  
……

せめて……



……  
慈悲……が……

……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……  
……



タンン...  
タンン...  
タンン...

楽しんでさせる...!!

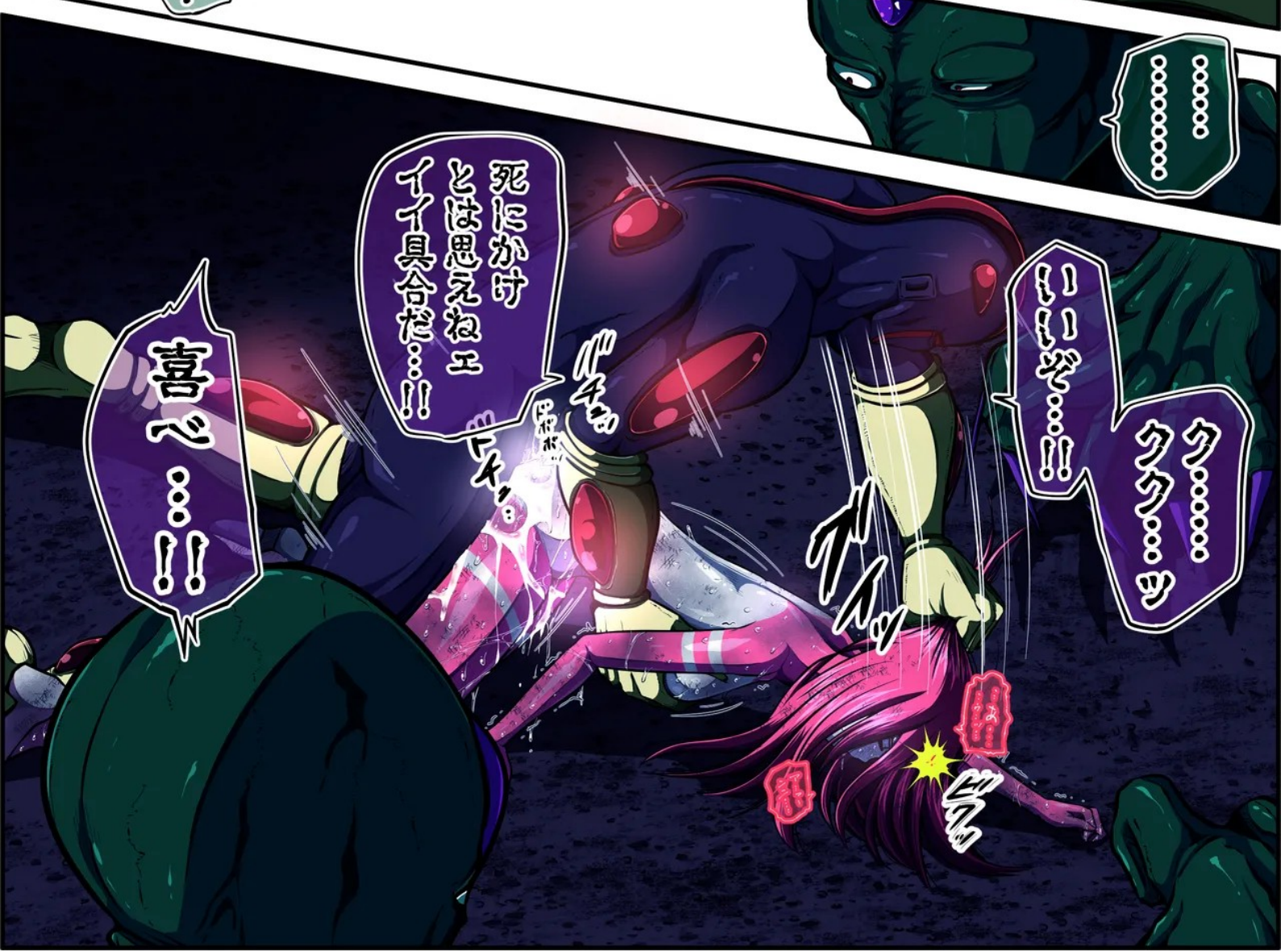
ウウウ...

ウウウ...

ウウウ...

ウウウ...

.....  
.....



喜び...!!

死にかげ  
とは思えねエ  
イイ具合だ...!!

ウウウ...!!

ウウウ...!!

ウウウ...

ウウウ...

ウウウ...

お前は  
『戦う皇女』  
じゃなく  
……………

ただの『女』  
として死ぬん  
だ……………!!!

このオレに  
……………  
犯されながら  
……………!!!



oooooooooooo  
oooooooooooo

死んだか……



……チッ  
もう少し  
楽しみたかった  
んだが……

すでに  
限界だったか

……クク  
高貴な皇女様が  
犯されながら  
死ぬとはな……!



ゲロル

この皇女を  
見せしめに  
する……！

準備  
しろ……！！

……子……  
わ……か……つ……た……  
よ……！！

オ  
ス  
...

起きろ  
.....

.....  
オイ

ン  
ン  
.....

確か...お前も悪くねエ  
味だったしなアア...  
グヒヒヒツ...!!

クククク...  
起きるや  
ヒメノよオ...  
なんならお前も  
舐めて起こして  
やるうか...?

グヒヒツ!  
よオ、久しぶり  
だな.....

ツ  
...

ん  
.....

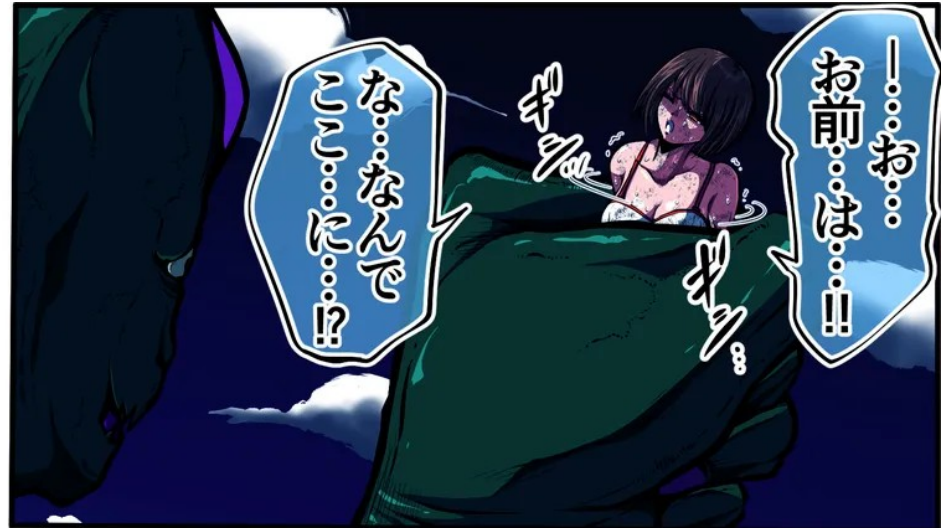
ん  
.....  
ん  
.....

地球人の  
女.....



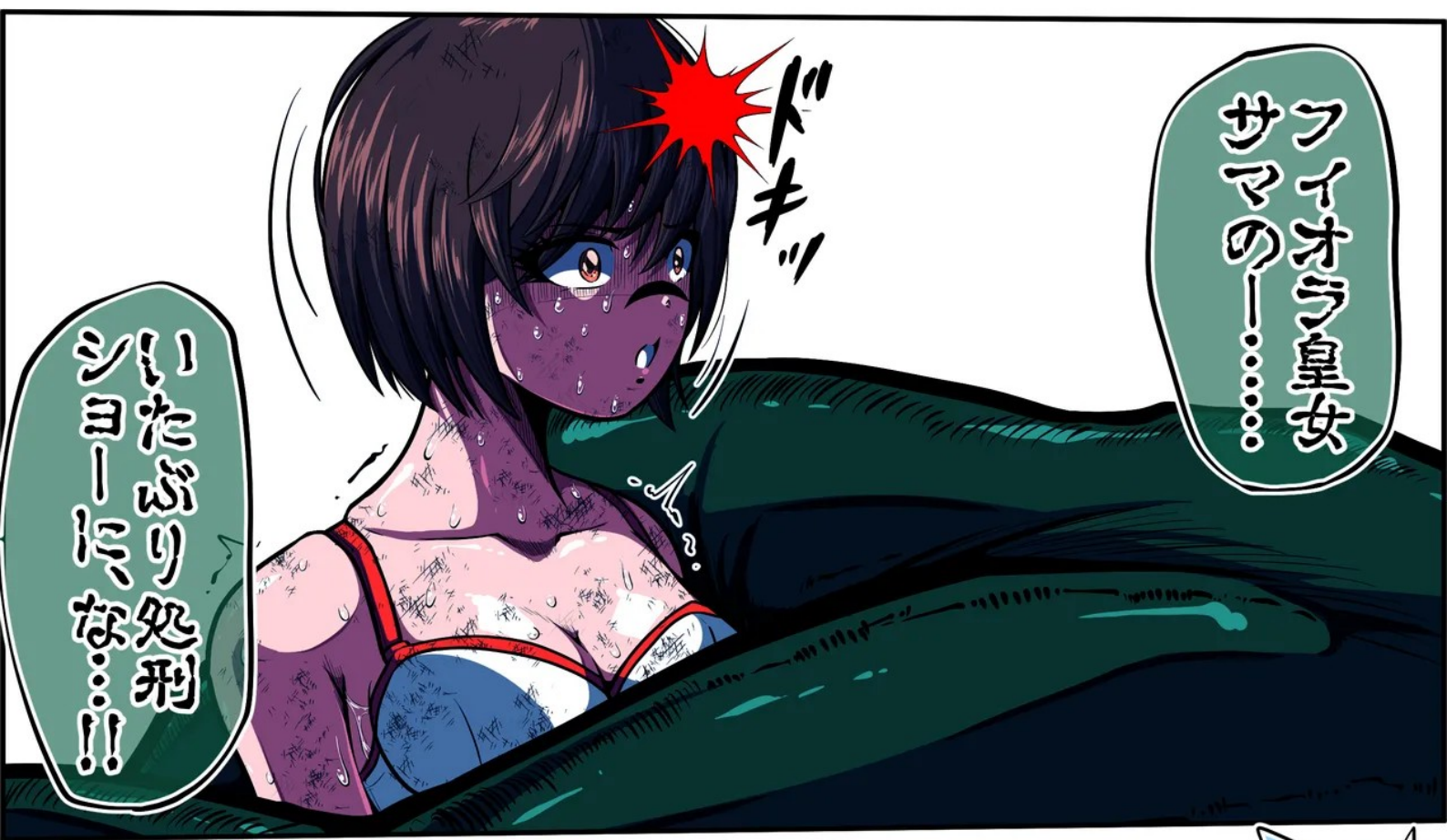
タハハハハ

オシを混ぜて  
もろったんだよ



な...なんで  
こ...こ...だ...!!

！...お...  
お前...は...!!



ファイオラ皇女  
サマの...!!

ドキッ

いたぶり処刑  
シヨーにな...!!



上を見て  
みる...!!

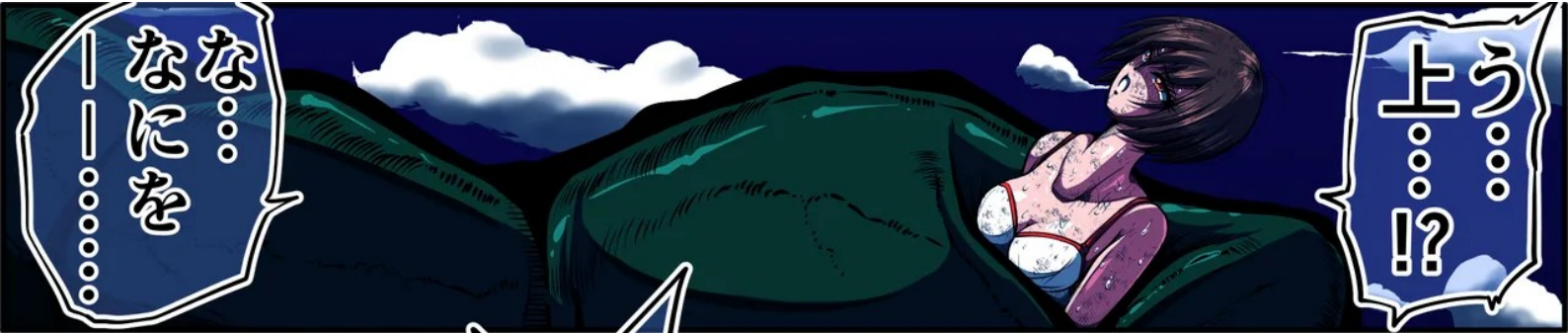


シフ...  
シフ...



！...ツツ!!  
は...ファイオラ  
は...ツツ!?

ファイオラは  
どこツ!?



な...  
なにを

う...  
上...  
!?



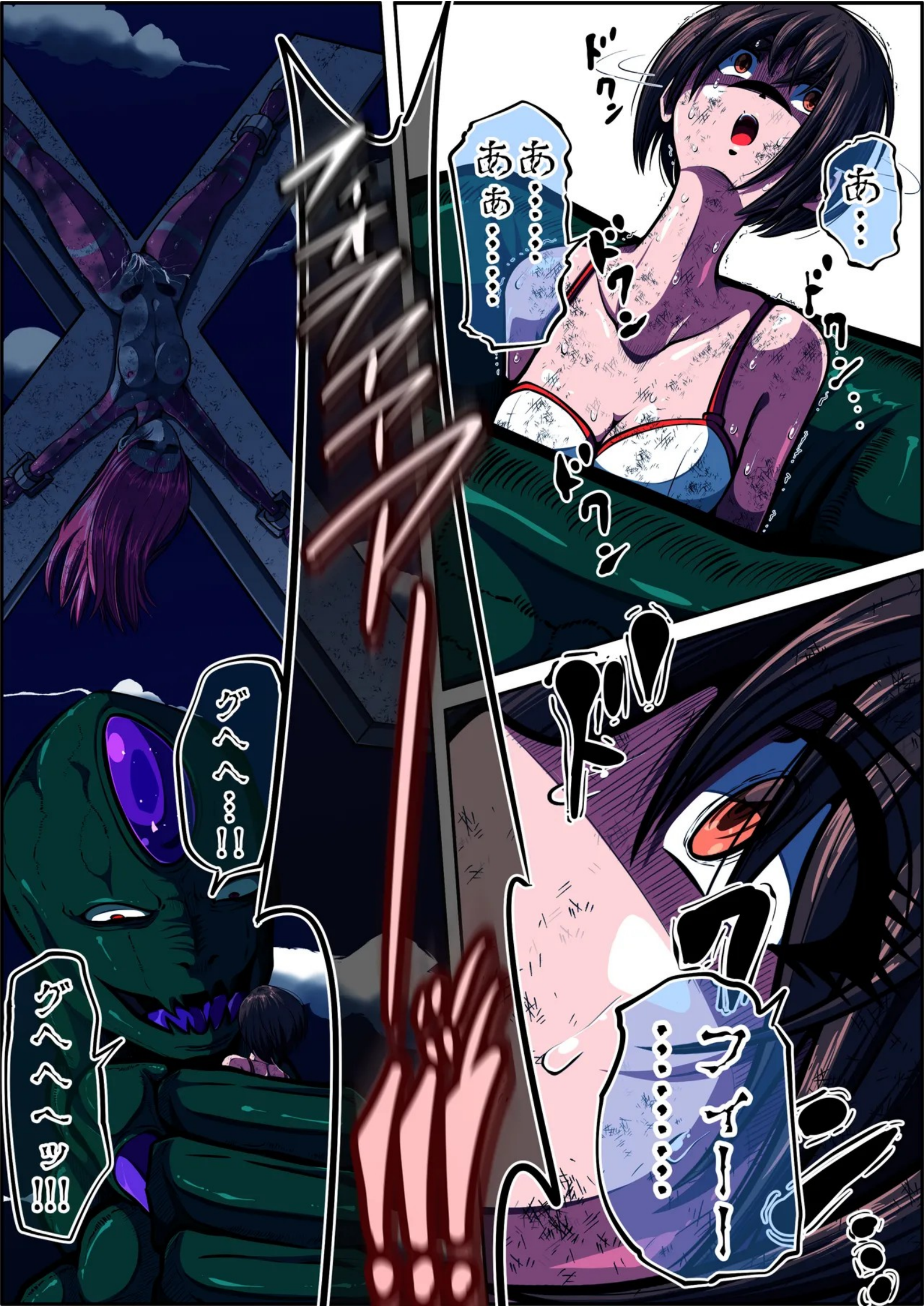
う...  
う...  
!!

!!!



死んだ

楽しんで  
楽しんだ  
あとに...  
殺してやったよ  
夕へへ...!!



あゝあゝあゝあゝ

あ...

グッッッッ!!

グッッッッ!!

グッ  
グッ

グッ

グッ

グッ

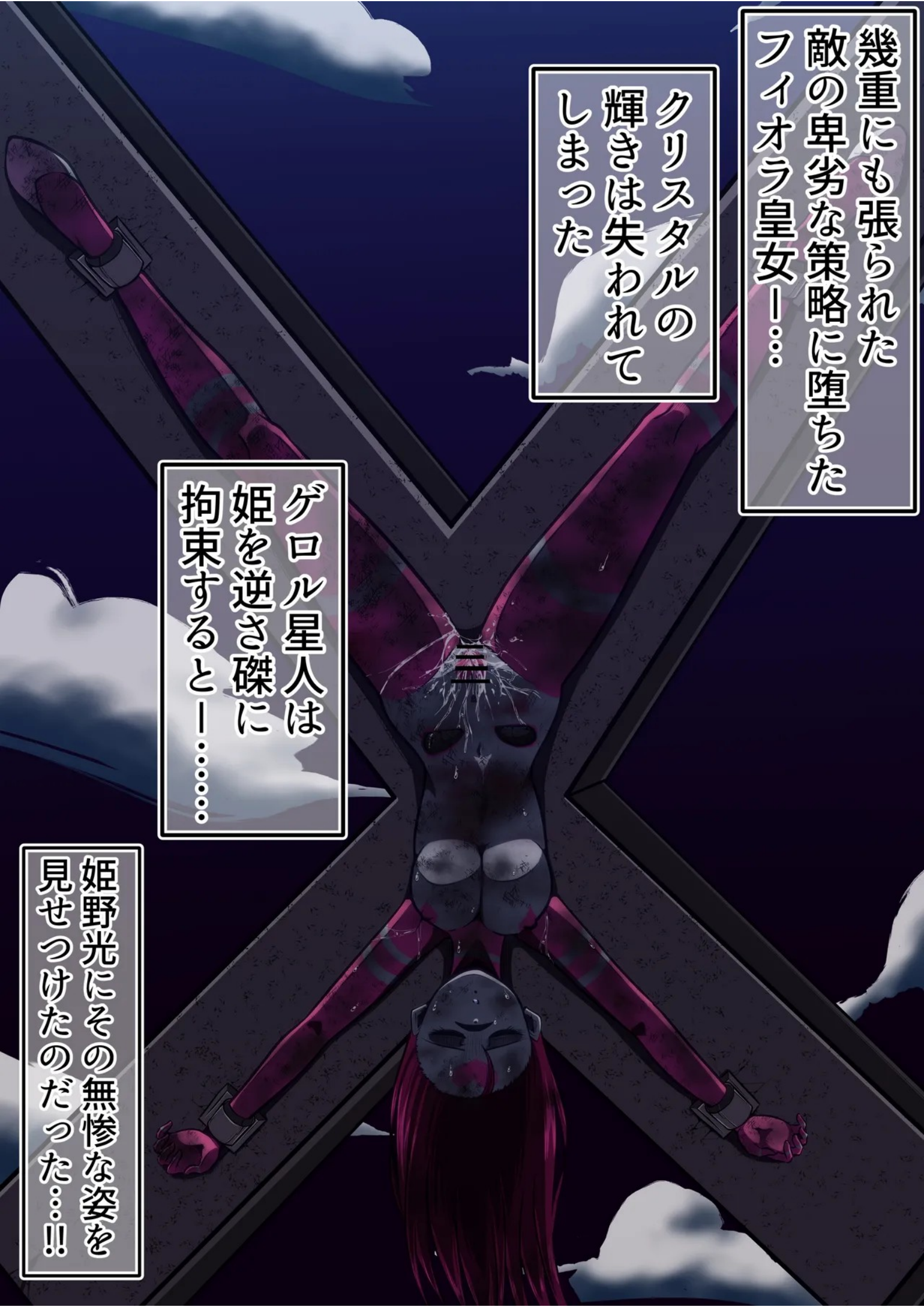
グッ

幾重にも張られた  
敵の卑劣な策略に堕ちた  
フィオラ皇女……

クリスタルの  
輝きは失われて  
しまった

ゲロル星人は  
姫を逆さ磔に  
拘束すると……

姫野光にその無惨な姿を  
見せつけたのだった……!!!



フィオラは  
本当に死んで  
しまったのか……？

そして、残された  
光はどうなって  
しまうの  
だろうか……？

2人の  
運命は  
果たして……

# フィオラ ピンクモード

かつて捕らわれ、1000年にも渡って性的な拷問を受け続けていたフィオラ姫…

途方もない時間をかけ、弄ばれ続けた彼女の肉体は、髪も体色も全て桃色に染められた。この姿のフィオラには戦う力はほぼ無く、常に性的な疼きに支配されている。



前作では敵のブラン星人にたっぷりと犯され、何度も膣内に精液をぶち撒かれてしまった…。(しかも、同化者の光の目の前で、である)

確認のしようがないが、ピンクモードのフィオラは妊娠率もかなり高いため、ブランの子を孕まされている可能性すらある…。

# フィオラ ディープピンクモード

ピンクモードからさらに感覚を刺激され、  
変わり果てた姫の姿。

ディープピンクモードは与えられる刺激や  
状況下によって身体の紋様が様々変化する。  
この姿のフィオラはもはや自力で立つこと  
すら危うい、最弱の状態。

それどころか、この状態のまましていると  
弱った身体が滅茶滅茶に狂った性的激感に  
耐えられず、命の危険すらあるという。

まして、このディープピンクモードの姿で  
敵の攻撃を受けたり、辱められたりしてしまったら…

フィオラのカラダはその痛覚、または快樂に壊され、  
そのまま息絶えてしまうだろう…!!







# フィオラ クライシス

～フィオラ姫、死す…!?～



# ファイオラ クライシス

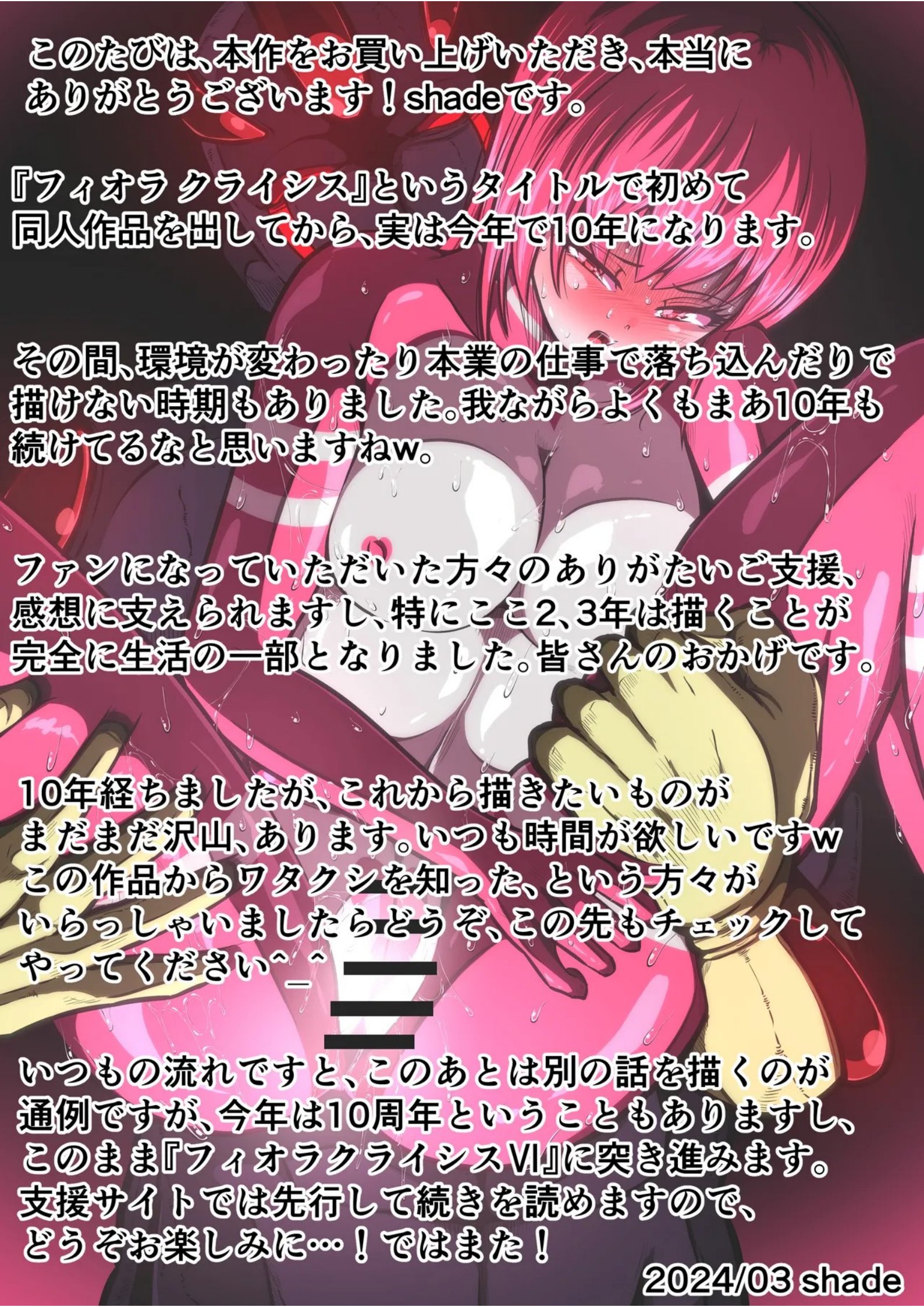
～ファイオラ姫、死す…!?～



三三三

# フィオラクライズ

～フィオラ姫、死す…!?～



このたびは、本作をお買い上げいただき、本当に  
ありがとうございます！shadeです。

『フィオラクライシス』というタイトルで初めて  
同人作品を出してから、実は今年で10年になります。

その間、環境が変わったり本業の仕事で落ち込んだり  
描けない時期もありました。我ながらよくもまあ10年も  
続けてるなと思いますねw。

ファンになっていただいた方々のありがたいご支援、  
感想に支えられますし、特にここ2、3年は描くことが  
完全に生活の一部となりました。皆さんのおかげです。

10年経ちましたが、これから描きたいものが  
まだまだ沢山、あります。いつも時間が欲しいですw  
この作品からワタクシを知った、という方々が  
いらっしゃいましたらどうぞ、この先もチェックして  
やってください^-^

いつもの流れですと、このあとは別の話を描くのが  
通例ですが、今年は10周年ということもありますし、  
このまま『フィオラクライシスVI』に突き進みます。  
支援サイトでは先行して続きを読めますので、  
どうぞお楽しみに…！ではまた！

2024/03 shade